

スリットラインシリーズ

フェンススタイル (たて格子)

フェンススタイル (DPG パネル + たて格子 / よこ格子)

ウォールスタイル壁内タイプ (たて格子) 施工説明書

- この度は、当社製品をご採用いただき誠にありがとうございます。
商品を正しく安全に組立・施工していただくために、この施工説明書をよくお読みの上、作業を行ってください。
- 本説明書に示した注意事項は、商品の性能・機能および強度や安全性を確保する上での重要な内容です。
施工にあたっては必ずお守りください。
- 施工は専門業者が行ってください。専門知識のない方が施工されますと不具合発生の原因となることがあります。
- この施工説明書は施工後必ず施主様へお渡しください。

施工時の注意事項 施工にあたっては次の点をご注意ください。

◎設置場所・位置について

- ガス給湯器などの熱や排気ガスが製品に直接当たる、またはこもるような場所に設置しないでください。熱による塗装劣化・剥離(はくり)、また排気ガスによる腐食の原因になります。

◎施工時の注意事項

- モルタル用に海砂を使用されますと、多量に塩分が含まれているため、腐食の原因になりますのでご使用を避けていただくか、十分水洗いしたものをご使用ください。
- モルタルやコンクリートの急結剤は腐食の発生や促進作用がありますのでその使用を避けていただくか、塩化カルシウムや塩素系の化合物・珪酸ナトリウム等の入っていないものをご使用ください。
- アルミ商品と銅板やラス等の異種金属が接触しないようにしてください。接触する場合には、ビニールテープ等を貼るか塗料等で絶縁処理をしてください。
- 腐食の恐れのある接着剤や化学薬品を使用する場合には、商品と接触しないようにするか接触部分を完全に養生してください。
- 埋め込み柱内部にモルタルやコンクリートや水などが入らないようにしてください。柱内部の異常腐食や柱の凍結破損の原因になります。

- モルタルやコンクリートの抽出液は強アルカリ性で、しみやむら等の外観不良や腐食の原因になりますので、工事中に商品に付着しないようご注意ください。
- 施工時に商品の表面に付着したモルタルやコンクリート等は速やかに清掃してください。また、アルミ表面にキズをつけますと腐食しやすくなりますので取扱いは十分注意してください。
- 輸入木材には塩素イオン等の腐食成分が多く含まれているものがありますので、その使用を避けていただくか、アルミと接触する部分には木材に塗装するようにしてください。
- 基礎施工は、地下埋設物(給水配管等)に影響を及ぼさないように柱位置を決めてください。また、寒冷地はその地域にあった基礎工事を行ってください。
- 地盤が軟弱な場合は、柱の埋め込み深さ、フーチングの大きさを考慮してください。
- 養生期間は十分(4日~1週間)にとり、養生期間中は重いものをのせたり、振動させたりしないように指示してください。
- 支柱の水抜き穴をモルタル等で塞がないでください。
- 屋上や沿岸に面した非常に風当りの強い場所等には設置しないでください。
- 改造・変更をしないでください。

この説明書に示した注意事項は、安全に関する重要な内容を示しています。人身事故や財産への損害を未然に防止するため、次のような絵表示をしています。

絵表示	意味	絵表示	ご使用上の注意とお願い
	この表示を無視して誤った取扱いをすると使用者等が負傷する危険や物的損害の発生が予想されることを表しています。		「必ず行っていただくこと」を示しています。

注意

- 本体に乗ったり、揺すったりしないでください。
- 本商品は隣地境界等の目的に設置するものです。防護柵や手すり等に使用しないでください。
- 雨具・洗濯物・布団等を載せないでください。
- 製品に電線等を直接載せないでください。
- 各ボルト・ビス類は、確実に締付けてください。
- 無理にボルト・ビスを締付けしないでください。破損の原因となります。
- ラミネート格子・ポリカーボネートの近くで、殺虫剤・除草剤を使用しないでください。有機系・石油系の物質が付着すると、パネルの変色やムラ、変形、割れを生じることがあります。

■スリットラインシリーズ

番号	施工説明書名称	説明書の梱包先	番号	施工説明書名称	説明書の梱包先
ME-1793	フェンススタイル (たて格子) フェンススタイル (DPG パネル + たて格子 / よこ格子) ウォールスタイル壁内タイプ (よこ格子)	胴縁エンド	ME-1803	飾り門柱	飾り門柱
ME-1903	フェンススタイル・ウォールスタイル壁内タイプ (よこ格子)	よこアタッチセット	ME-2171	フェンススタイル(たて格子ユニットパネル) 施工説明書	たて格子ユニットパネル
ME-1795	直角・自在コーナー (たて格子)	直角コーナー部品 角度自在コーナー部品			
ME-1796	直角・自在コーナー (よこ格子)	直角コーナー部品 角度自在コーナー部品	ME-1808	接続金具 A	接続金具 A
ME-1797	パーゴラスタイル	垂木掛けエンドキャップ	ME-1906	ビームスタイル (たて格子)	ビームスタイルたて柱セット
ME-1799	ウォールスタイル持ち出しタイプ (たて格子)	単体部品セット	ME-1907	ビームスタイル (よこ格子)	ビームスタイルよこ柱セット
ME-1800	ウォールスタイル持ち出しタイプ (よこ格子)	躯体取付セット(端部)	ME-1908	ビームスタイル・テラスのせ納まり	テラス接続金具
ME-1801	アーチスタイル	アーチスタイル柱セット	ME-1909	フェンススタイル (たて格子)・R 納まり	R タイプ胴縁
ME-1802	スリットライン門扉	門柱	ME-1806	フェンススタイル (たて格子)・W40 タイプ	壁内取付金具

もくじ

●施工前の確認.....	2	B. フェンススタイル (DPG パネル) の施工.....	17
●梱包明細.....	3	1. アームロッドの取付け.....	17
●デザイン例.....	4	2. 柱の設置.....	17
●格子の種類.....	4	2-1 DPG パネル+たて格子の場合.....	17
●納まり図.....	5	2-2 DPG パネル+よこ格子の場合.....	18
A. フェンススタイル (たて格子) の施工.....	10	3. DPG パネルの取付け.....	19
1. 柱部品の取付け.....	10	3-1 胴縁 (下段) の取付け.....	19
1-1 胴縁エンドの取付け.....	10	3-2 DPG パネルの取付け.....	20
1-2 胴縁ジョイント部品の取付け.....	11	3-2-1止め金具の取付け.....	20
2. 柱の設置.....	12	3-2-2傷防止プレートの取付け.....	20
2-1 フェンススタイル・標準納まりの場合.....	12	3-2-3下段パネルの取付け.....	20
2-2 フェンススタイル・ブロック納まりの場合.....	12	3-2-4上段パネルの取付け.....	21
3. 胴縁の取付け.....	13	3-3 胴縁の取付け.....	22
3-1 施工前の確認.....	13	C. ウォールスタイル壁内タイプの施工.....	23
3-2 胴縁の取付け.....	13	1. 胴縁エンドの取付け.....	23
3-2-1 H2500以下の場合.....	13	2. 端部格子の取付け.....	24
3-2-2 H3000の場合.....	14	3. 胴縁の取付け.....	25
4. 格子の取付け.....	15	4. 格子の取付け.....	25
5. 胴縁カバーの取付け.....	16	5. 胴縁カバーの取付け.....	25
		●本体の切詰め.....	25
		●高さ違い納まりの施工.....	26
		●ルーバー柱の向き変更.....	27
		●製品のお手入れ方法について.....	28
		●施工工事店様、販売店様へのお願い.....	28

施工前の確認

●施工前に確認してください。

「ウォールスタイル壁内タイプ」の施工について

●「ウォールスタイル壁内タイプ」を施工する場合は、躯体の材質によって、取付部品が異なります。

●躯体の材質

- RC 造 : プラグボルトを使用
- 木造 : コーチスクリューを使用

※詳細については 23 ページの「C. ウォールスタイル壁内タイプの施工」を参照してください。

「R 納まり」の施工について

●「R 納まり」の施工については、下記の説明書を参照してください。



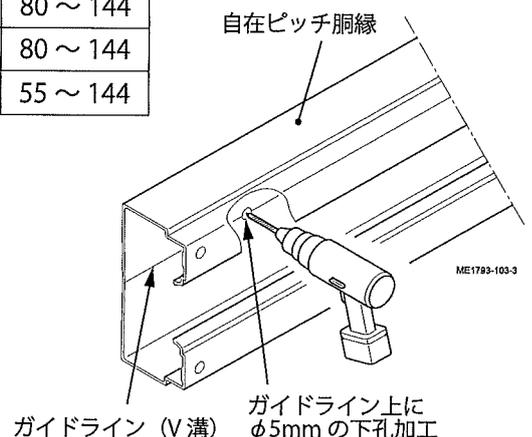
「フェンススタイル (たて格子)・R 納まり」
[ME-1909] を参照

加工なし胴縁について

- 「自在ピッチ胴縁」(加工なし/別売品)を使用すると、格子ピッチを変更することができます。
- 下表を参照し、取付前に下孔加工 (φ 5mm) を行ってください。

※下孔ピッチ (mm)

格子の種類	下孔ピッチ
35 × 55 格子	80 ~ 144
ルーバー格子	80 ~ 144
細格子	55 ~ 144



梱包明細

- 施工前に、部材数量および部品数量を確認してください。また、品質に支障のある損傷が無いが確認してください。
- 施工説明書に記載している部材・部品（ビス含）以外は使用しないでください。

表内の（ ）は個数を表しています。

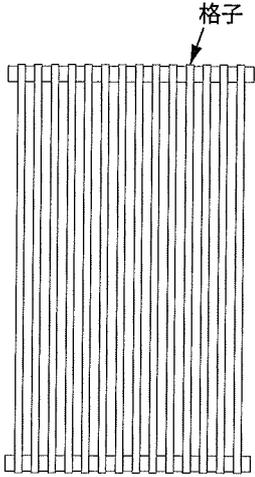
梱包名称		梱包内容		
フェンススタイル	縦格子部材	3本入り	縦格子 (3)	
		2本入り	縦格子 (2)	
	縦格子柱		縦格子柱 (1) ルーバーキャップセット (1※1) [ルーバー格子キャップ (左・右各1) 穴ふさぎシール (1)・φ4×12トラスタッピン3種 (2)・φ5×13セルフドリリングビス (2)]	
	胴縁セット	2本入り	35×55格子・ルーバー格子	上胴縁・下胴縁 [L=1176] (2)・胴縁カバー (2)・φ4×12トラスタッピン3種 (33[5]※2)
			細格子用	上胴縁・下胴縁 [L=1176] (2)・胴縁カバー (2)・φ4×12トラスタッピン3種 (52[10]※2)
		3本入り	33×35格子	上胴縁・下胴縁 [L=1176] (3)・胴縁カバー (3)・φ4×12トラスタッピン3種 (33[5]※2) φ4×16セルフドリリングビス (16[2]※2)
		2本入り (加工なし) [別売品]		自在ピッチ胴縁 [L=1176] (2)・胴縁カバー (2)・φ4×12トラスタッピン3種 (33[5]※2)
		3本入り (加工なし) [別売品]		自在ピッチ胴縁 [L=1176] (3)・胴縁カバー (3)・φ4×12トラスタッピン3種 (33[5]※2) φ4×16セルフドリリングビス (16[2]※2)
	胴縁ジョイント	2個入り		胴縁ジョイント部品 (2)・φ4×25トラスタッピン3種 (4)・φ4×12トラスタッピン3種 (8)
		3個入り		胴縁ジョイント部品 (3)・φ4×25トラスタッピン3種 (6)・φ4×12トラスタッピン3種 (12)
胴縁エンド	4個入り		胴縁エンド (左右各2) φ4×25トラスタッピン3種 (8)・φ4×12トラスタッピン3種 (8)・施工説明書 [ME-1793] (1)	
	6個入り		胴縁エンド (左右各3) φ4×25トラスタッピン3種 (12)・φ4×12トラスタッピン3種 (12)・施工説明書 [ME-1793] (1)	
フェンススタイル (DPGパネル)	DPG パネル	2枚入り	DPG パネル (2)	
	DPG 柱	縦格子	DPG 柱 (1)・パネル取付部品セット (1) [アームロッド (6)・傷防止プレート (12) ドットポイント金具 (6)・M5×20皿小ネジ (6)・φ5×14トラスタッピン3種 (12)]	
		横格子	DPG 横格子連結柱 (1)・パネル取付部品セット (1) [アームロッド (6)・傷防止プレート (12) ドットポイント金具 (6)・M5×20皿小ネジ (6)・φ5×14トラスタッピン3種 (12)]	
	胴縁セット	4本入り	DPG 胴縁 [L=576] (4)・胴縁カバー [L=576] (4) 止め金具セット (1) [止め金具 (上下用) (2)・φ4×12皿タッピン1種 (2)]	
	胴縁ジョイント	2個入り	胴縁ジョイント部品 (2)・φ4×25トラスタッピン3種 (4)・φ4×12トラスタッピン3種 (8)	
	胴縁エンド	4個入り	胴縁エンド (左右各2) φ4×25トラスタッピン3種 (8)・φ4×12トラスタッピン3種 (8)・施工説明書 [ME-1793] (1)	
ウォールスタイル壁内タイプ	縦格子部材	3本入り	縦格子 (3)	
		2本入り	縦格子 (2)	
	胴縁セット	2本入り	35×55格子・ルーバー格子	上胴縁・下胴縁 [L=1176] (2)・胴縁カバー (2)・φ4×12トラスタッピン3種 (33[5]※2)
			細格子用	上胴縁・下胴縁 [L=1176] (2)・胴縁カバー (2)・φ4×12トラスタッピン3種 (52[10]※2)
		3本入り	33×35格子	上胴縁・下胴縁 [L=1176] (3)・胴縁カバー (3)・φ4×12トラスタッピン3種 (33[5]※2) φ4×16セルフドリリングビス (16[2]※2)
		2本入り (加工なし) [別売品]		自在ピッチ胴縁 [L=1176] (2)・胴縁カバー (2)・φ4×12トラスタッピン3種 (33[5]※2)
		3本入り (加工なし) [別売品]		自在ピッチ胴縁 [L=1176] (3)・胴縁カバー (3)・φ4×12トラスタッピン3種 (33[5]※2) φ4×16セルフドリリングビス (16[2]※2)
	胴縁エンド	4個入り		胴縁エンド (左右各2) φ4×25トラスタッピン3種 (8)・φ4×12トラスタッピン3種 (8)・施工説明書 [ME-1793] (1)
		6個入り		胴縁エンド (左右各3) φ4×25トラスタッピン3種 (12)・φ4×12トラスタッピン3種 (12)・施工説明書 [ME-1793] (1)
	縦格子端部材	2本入り	縦格子端部材 (2)・面内躯体取付金具 (4)・φ4×12トラスタッピン3種 (8)	
コーチスクリュースセット※3		φ6×90コーチスクリュース (4)・M6用平座金 (4)		
プラグボルトセット※4		M6プラグボルト (4)		

※1：ルーバー柱のみ梱包されます。※2：[]内は予備数を示しています。※3：躯体が木造の場合に使用します。※4：躯体がRC造の場合に使用します。

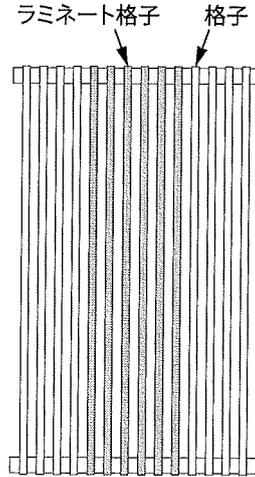
デザイン例

●デザイン例は一例です。他の組合せも可能です。各営業所にお問い合わせください。

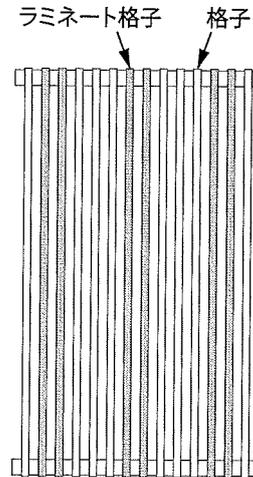
●デザイン例 1



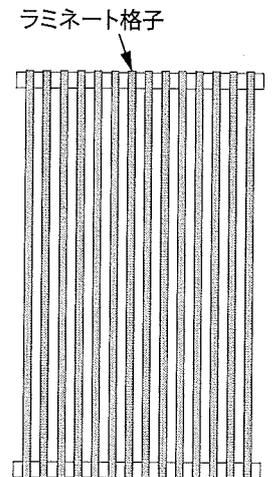
●デザイン例 2



●デザイン例 3



●デザイン例 4



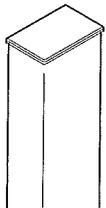
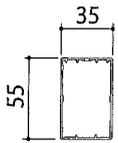
ME1793-001

格子の種類

●本商品には、下記の4種類の格子を取付けることができます。

●35 × 55 格子

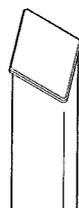
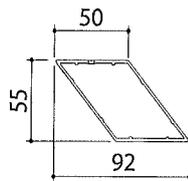
※格子ピッチ：80



ME1793-038-3

●ルーバー格子

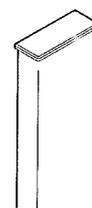
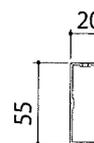
※格子ピッチ：80



ME1793-040-3

●細格子

※格子ピッチ：54.5



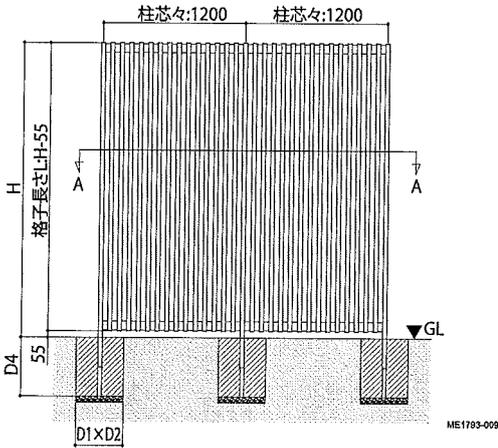
ME1793-041-3

納まり図

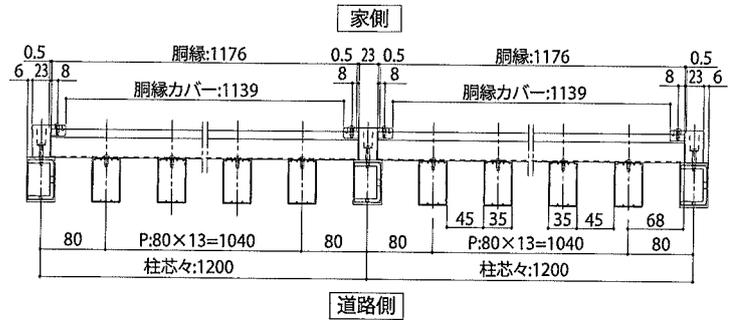
- 施工前に必ず確認してください。
- ここでは、35 × 55 格子を代表例として示しています。柱・格子の寸法、格子ピッチ以外は、4種類の格子とも納まりは共通です。

フェンススタイル標準納まり(H2500以下)

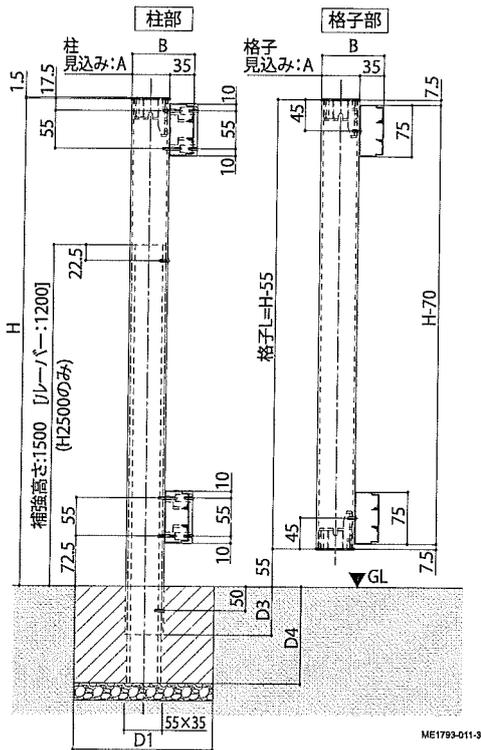
●基本納まり図 (35 × 55 格子の例)



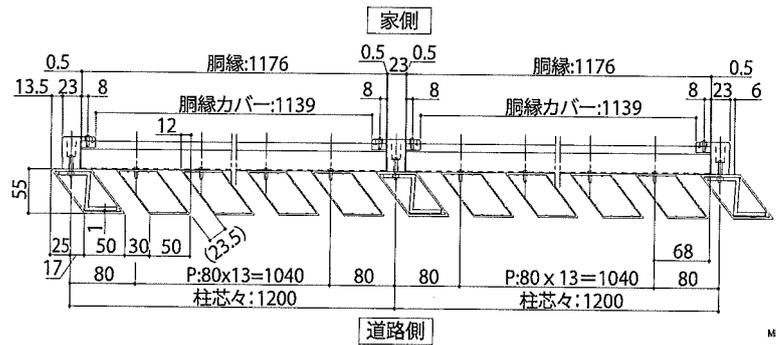
●A-A横断面図 (35 × 55 格子)



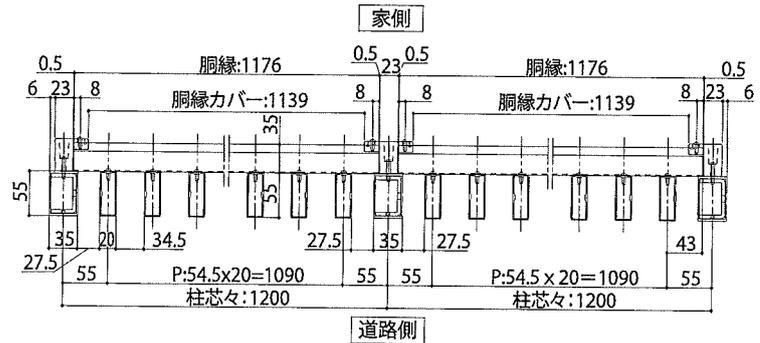
●縦断面図 (35 × 55 格子の例)



●A-A横断面図 (ルーバー格子)



●A-A横断面図 (細格子)



●寸法一覧表

(mm)

格子の種類	見込み:A	B	格子ピッチ
35 × 55 格子	55	90	80
ルーバー格子	55	90	80
細格子	55	90	54.5

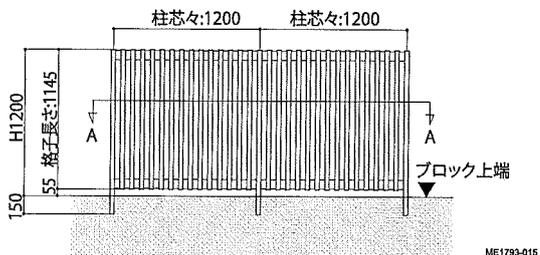
(mm)

呼称サイズ	H	L	D1		D2		D3		D4	
			35 × 55・細	ルーバー						
H1200	1200	1145	400	550	400	550	150	150	200	150
H1500	1500	1445	350	450	350	450	300	300	300	300
H1800	1800	1745	400	450	400	450	400	400	400	400
H2000	2000	1945	400	450	400	450	400	400	400	400
H2500	2500	2445	400	500	400	500	250	250	500	500

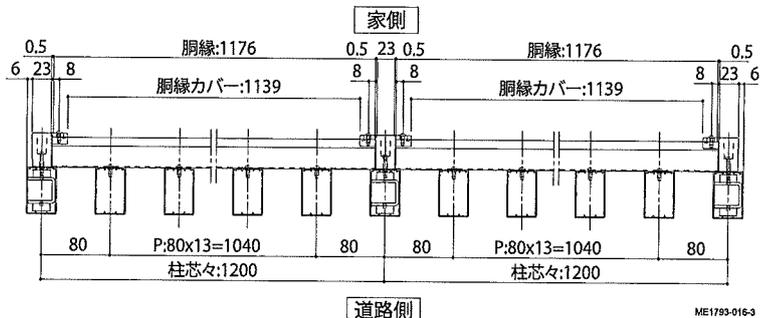
フェンススタイル・ブロック納まり

※ H1200 のみとなります。

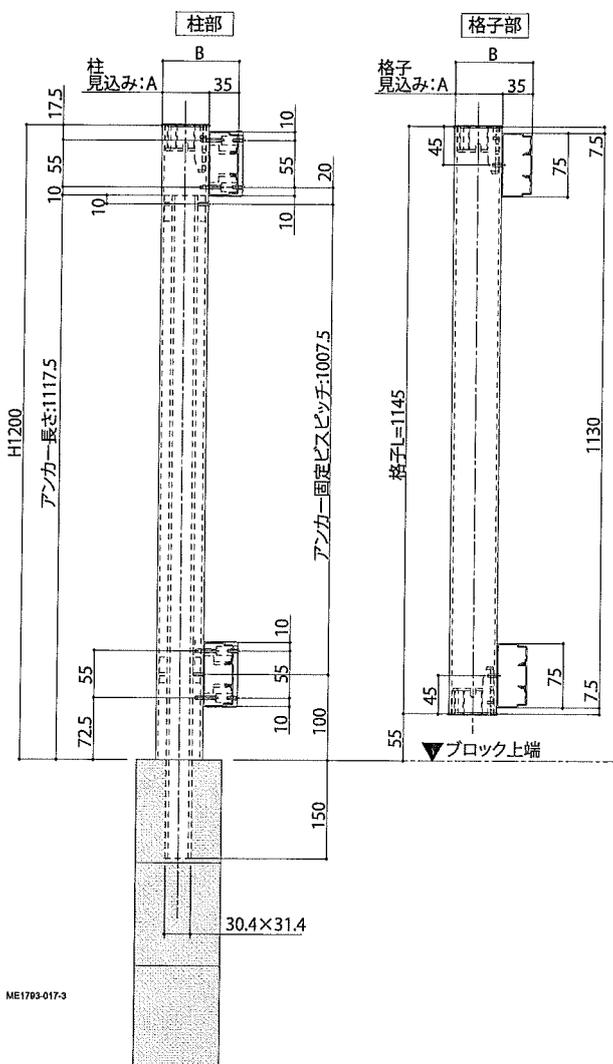
●基本納まり図 (35 × 55 格子の例)



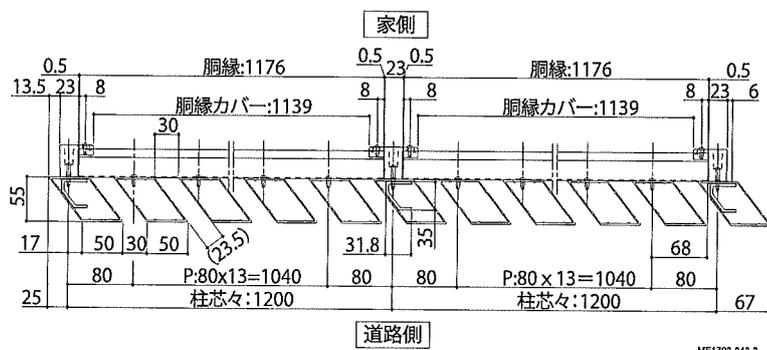
●A-A横断面図 (35 × 55 格子)



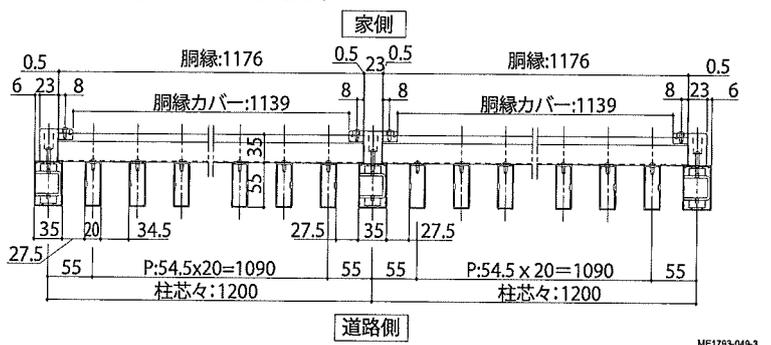
●縦断面図 (35 × 55 格子の例)



●A-A横断面図 (ルーバー格子)



●A-A横断面図 (細格子)



●寸法一覧表

(mm)

格子の種類	見込み: A	B	格子ピッチ
35 × 55 格子	55	90	80
ルーバー格子	55	90	80
細格子	55	90	54.5

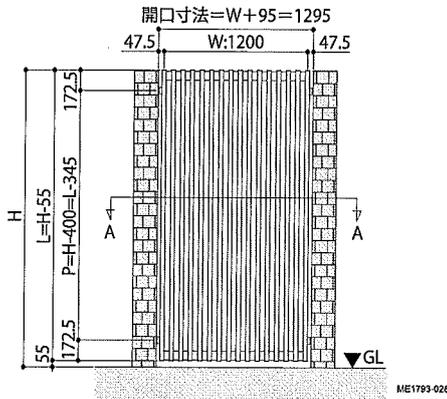
納まり図

ウォールスタイル壁内タイプ

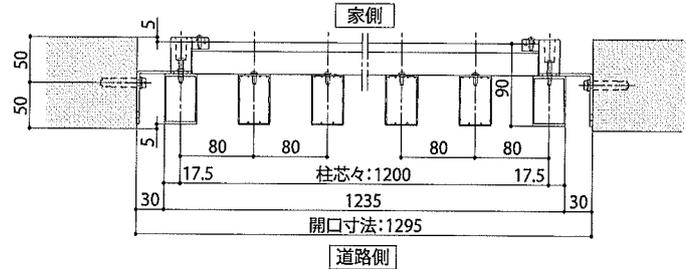
※躯体の材質によって、取付部品が異なります。
 (木造：コーチスクリューを使用、RC造：プラグボルトを使用)

※躯体部の取付方法については、23ページの「C.ウォールスタイル壁内タイプの施工」を参照してください。

●基本納まり図 (35 × 55 格子の例)

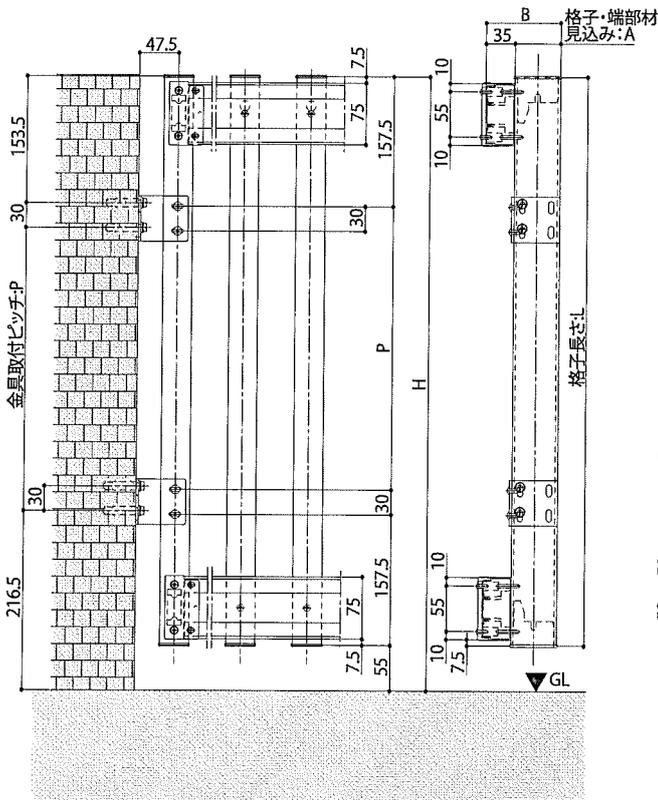


●A-A横断面図 (35 × 55 格子)



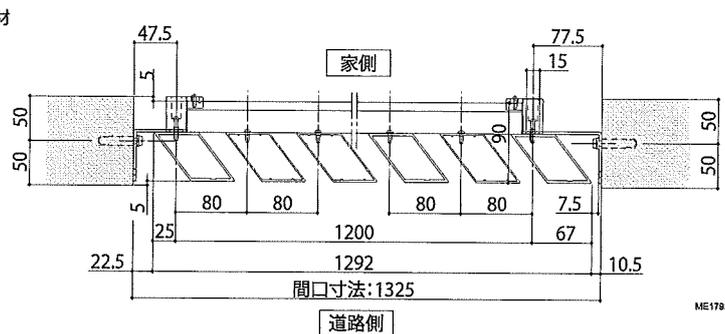
ME1793-029-3

●縦断面図 (35 × 55 格子の例)



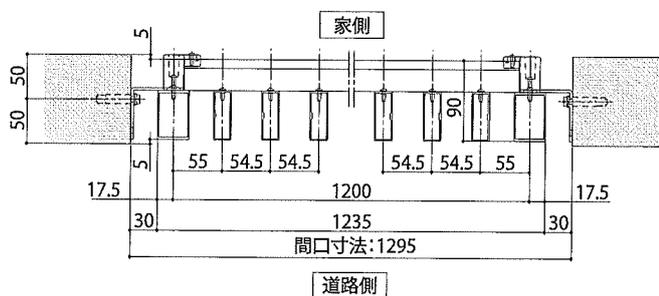
ME1793-030-3

●A-A横断面図 (ルーバー格子)



ME1793-051-3

●A-A横断面図 (細格子)



ME1793-052-3

●寸法一覧表

(mm)

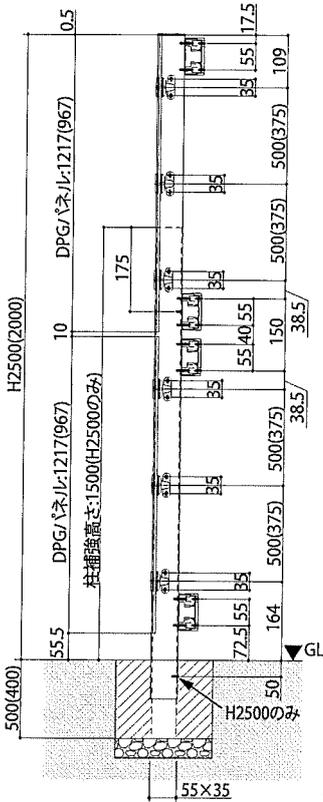
呼称サイズ	H	L	P
H1200	1200	1145	800
H1500	1500	1445	1100
H2000	2000	1945	1600
H2500	2500	2445	2100

(mm)

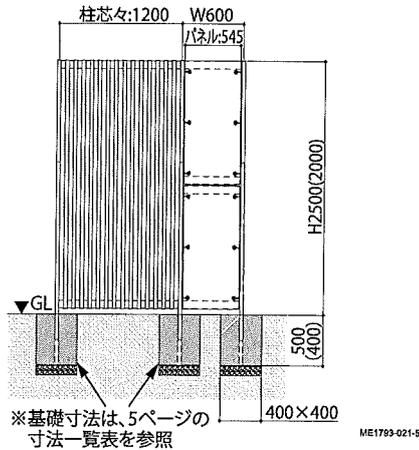
格子の種類	見込み・A	B	格子ピッチ
35 × 55 格子	55	90	80
ルーバー格子	55	90	80
細格子	55	90	54.5

フェンススタイル (DPG パネル + たて格子)

●縦断面図



●基本納まり図 (単体の場合)

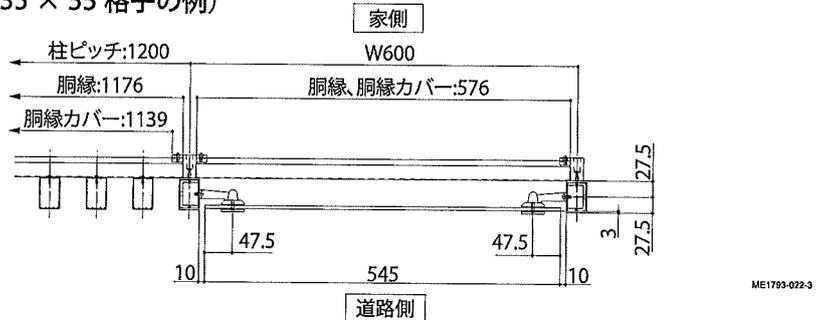


※ H2000 と H2500 の 2 パターンのみとなります。
 ※ DPG パネルは W600 のみとなります。また、DPG パネルを連続することはできません。
 ※ パネルをコーナー部へ取付けることはできません。
 ※ 本図は H2500 を示しています。() 内寸法は、H2000 を示しています。

ルーバー格子との組合せはできません。

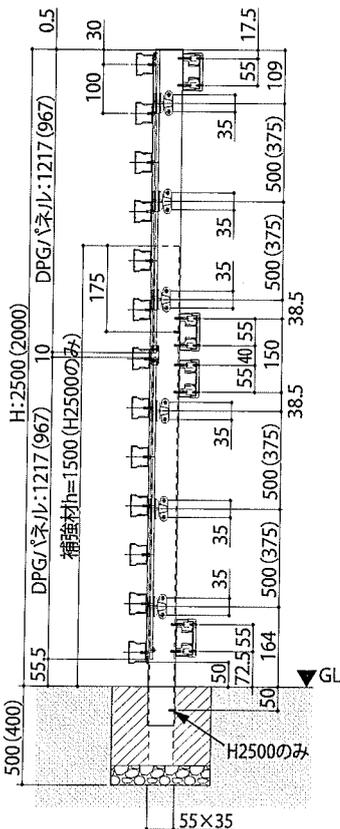
格子が取付く柱の基礎寸法は、格子の種類によって異なります。
 ※ 5 ページの「寸法一覧表」を参照してください。

●横断面図 (35 × 55 格子の例)

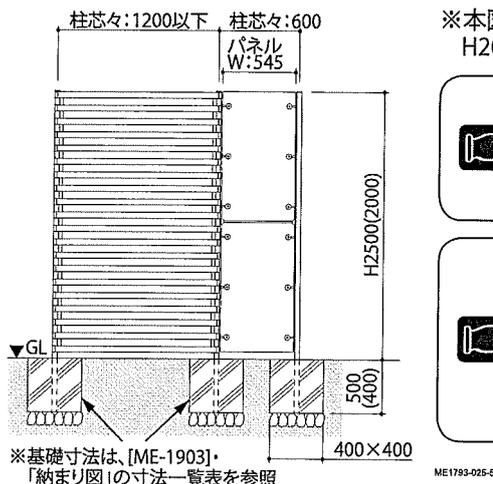


フェンススタイル (DPG パネル + よこ格子)

●縦断面図 (35 × 45 よこ格子の例)



●基本納まり図 (単体の場合)



※ H2000 と H2500 の 2 パターンのみとなります。
 ※ DPG パネルは W600 のみとなります。また、パネルを連続することはできません。
 ※ パネルをコーナー部へ取付けることはできません。
 ※ 本図は H2500 を示しています。() 内寸法は、H2000 を示しています。

フェンス本体の施工については「フェンススタイル・ウォールスタイル壁内タイプ (よこ格子)」の施工説明書 [ME-1903] を参照してください。

格子が取付く柱の基礎寸法は、格子の種類によって異なります。
 ※ 「フェンススタイル・ウォールスタイル壁内タイプ (よこ格子)」の施工説明書 [ME-1903]・「納まり図」の「寸法一覧表」を参照してください。

●横断面図 (35 × 45 よこ格子の例)



A

フェンススタイル (たて格子) の施工

●「フェンススタイル(DPG パネル)」の場合は 17 ページを、「ウォールスタイル壁内納まり」の場合は 23 ページを参照してください。

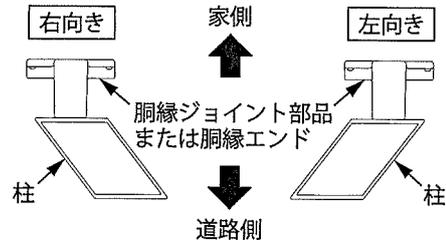
1 柱部品の取付け

●ここでは、「35 × 55 格子」のイラストで説明しています。



「パーゴラスタイル」の柱として使用する場合は、「パーゴラスタイル」の施工説明書 [ME-1797] を参照してください。

●ルーバー柱の向き



ME1793-042-4



- ルーバー柱は、出荷時は「右向き柱(外観)」になっています。「左向き(外観)」にする場合は、柱向きの変更が必要です。(27 ページ参照)
- 「右向き(外観)」の場合は、柱向きの変更はせずに、柱キャップ、孔ふさぎシール、捨てビスを取付けてください。(27 ページ参照)

1-1 胴縁エンドの取付け



胴縁エンドは、端部となる柱に取付けてください。



本締めは、後で胴縁を取付けてから行ってください。
※先に本締めしてしまうと、胴縁を取付けられないことがあります。

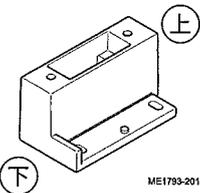
①胴縁エンドを柱に仮止めしてください。



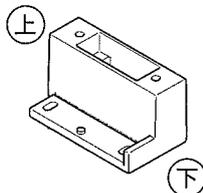
胴縁エンドには左・右および上・下の区別があります。

●胴縁エンド

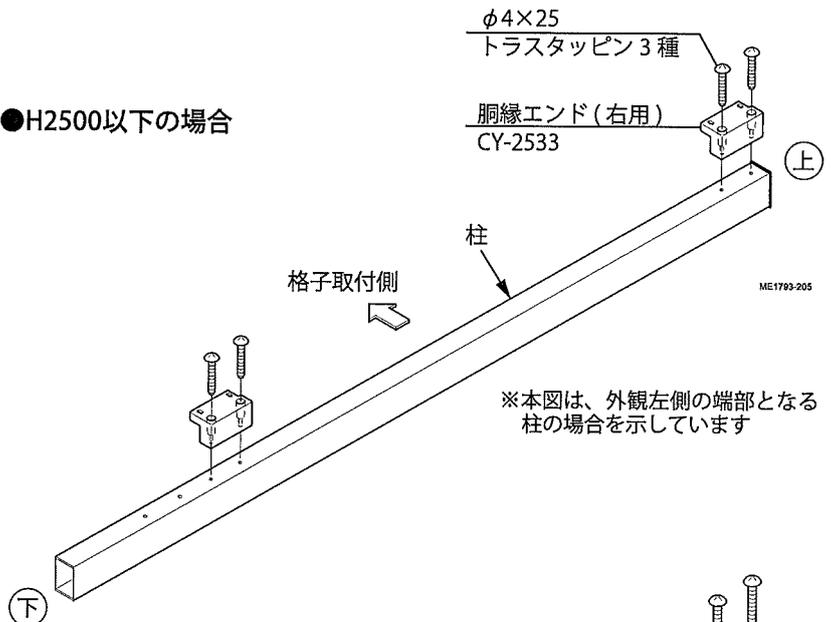
右用



左用

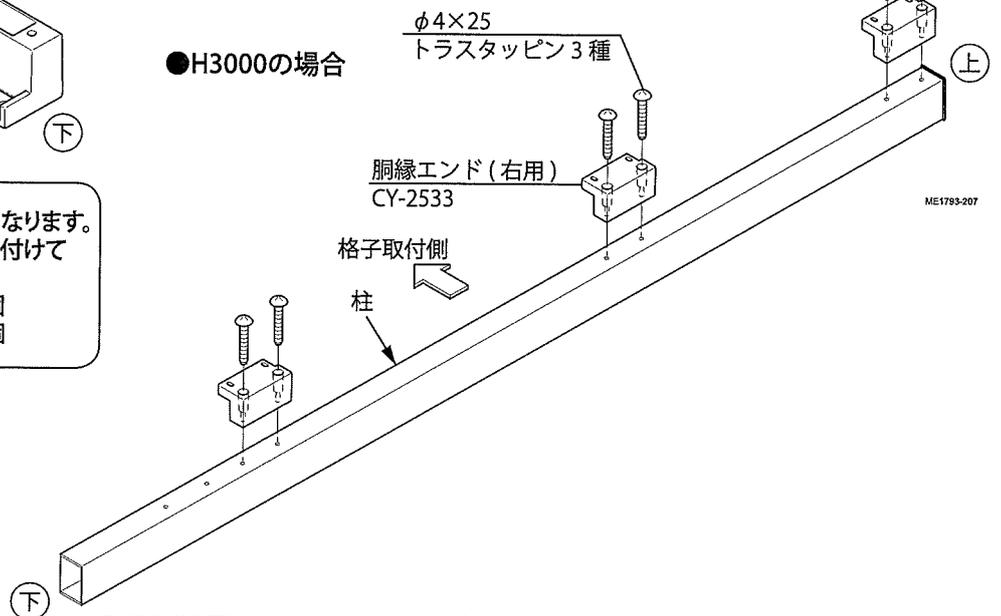


●H2500以下の場合



※本図は、外観左側の端部となる柱の場合を示しています

●H3000の場合



H3000の場合は胴縁が3本になります。柱の中間にも胴縁エンドを取付けてください。
H2500以下: 胴縁エンド 2個
H3000 : 胴縁エンド 3個

1-2 胴縁ジョイント部品の取付け

! 胴縁ジョイント部品は、中間部となる柱に取付けてください。



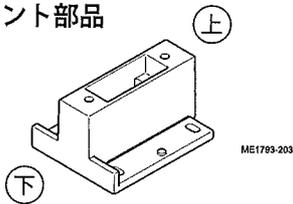
「B.フェンススタイル(DPGパネル)」と組み合わせる場合は、ここでは胴縁ジョイント部品を取付けないでください。
※ 19 ページ「3.DPG パネルの取付け」参照

① 胴縁ジョイント部品を柱に**仮止め**してください。

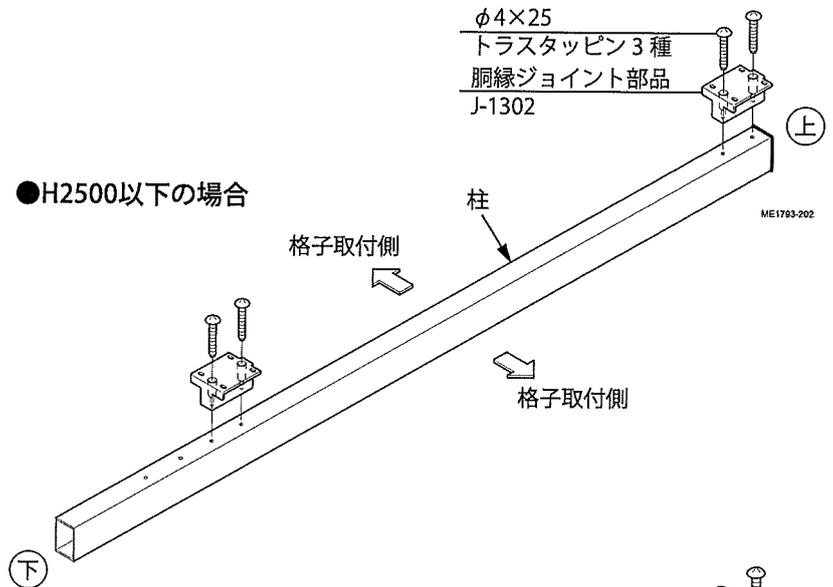


胴縁ジョイント部品には上・下の区別があります。

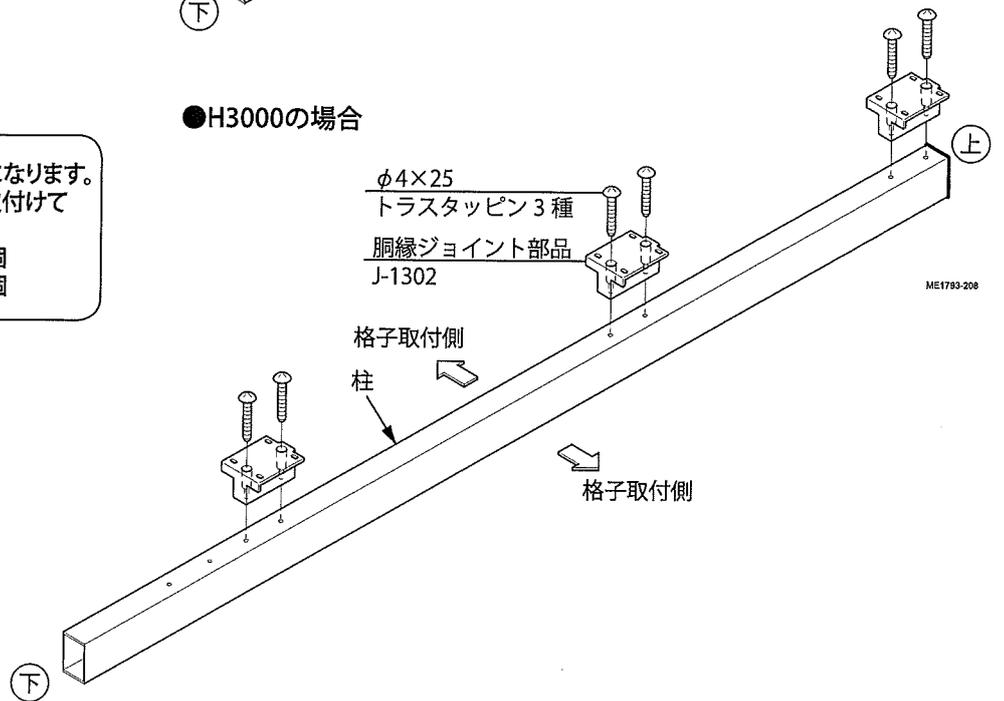
● 胴縁ジョイント部品



● H2500以下の場合



● H3000の場合



H3000の場合は胴縁が3本になります。柱の中間にも胴縁エンドを取付けてください。
H2500以下: 胴縁エンド 2個
H3000 : 胴縁エンド 3個

2 柱の設置

●各納まりごとの手順を参照してください。
●ここでは、「35 × 55 格子」のイラストで説明しています。

2-1 フェンススタイル・標準段納まりの場合

スリットラインシリーズ他商品(門扉・機能ポール)と組み合わせる場合は、「接続金具 A」を取付けてください。
※取付方法については、「接続金具 A」の施工説明書 [ME-1808] を参照してください。

①「納まり図」で柱の位置やレベルを確認し、柱を設置してください。

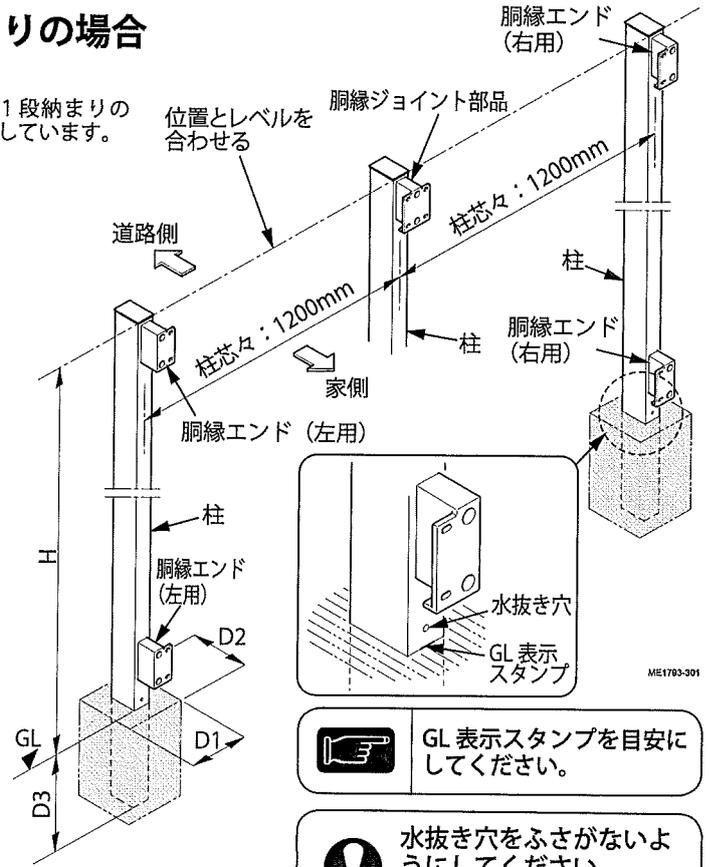
補強材のある柱
H2500 以上

地下埋設物(給排水管等)に影響を及ぼさないように柱位置を決めてください。

●基礎寸法一覧表 (mm)

呼称サイズ	H	D1	D2	D3
H1200	1200	格子の種類により異なります。 ※ 5 ページの「納まり図」で確認してください。		
H1500	1500			
H1800	1800			
H2000	2000			
H2500	2500			
H3000	3000	400	400	500

※本図は、1 段納まりの場合を示しています。



GL 表示スタンプを目安にしてください。

水抜き穴をふさがないようにしてください。
※凍結破損の原因になります。

2-2 フェンススタイル・ブロック納まりの場合

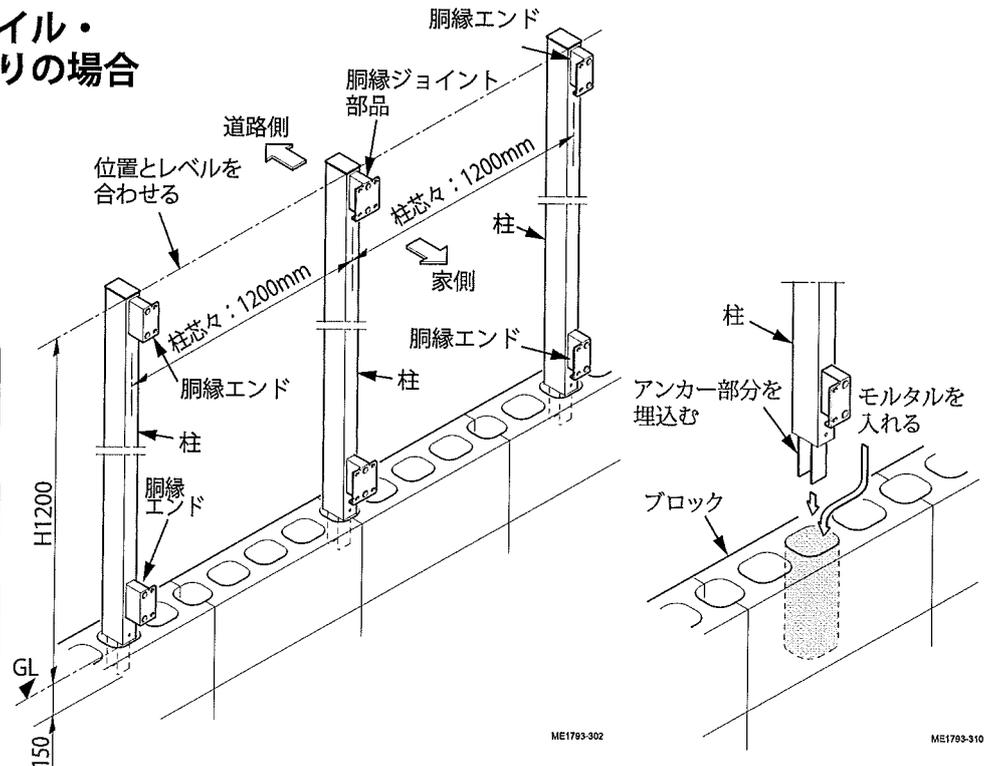
①「納まり図」で柱の埋め込み位置やレベルを確認し、柱をブロックに立ててください。

②ブロック内にモルタルを入れ、柱の補強材部分を埋め込んでください。

柱の補強材の部分を埋め込んでください。
※埋め込み寸法 = 150mm

位置とレベルを合わせてください。

水抜き穴をふさがないようにしてください。
※凍結破損の原因になります。



3 胴縁の取付け

●ここでは、「35 × 55 格子」のイラストで説明しています。

3-1 施工前の確認



胴縁の施工にあたっては、下記を守ってください。

- ・「B. フェンススタイル (DPG パネル)」と組み合わせる場合は、DPG パネル側の胴縁は後工程で取付けてください。
※ 19 ページ「3.DPG パネルの取付け」参照してください。



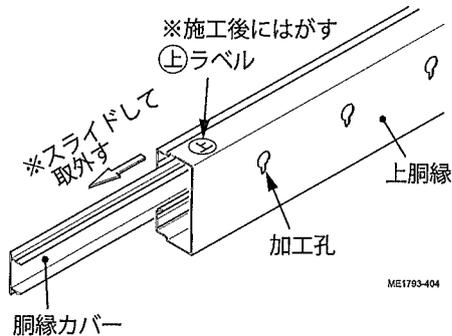
胴縁には上・下の区別があります。

- ※上胴縁には方向があります。Ⓚ ラベルが貼られていますので、ラベルの面を上にして取付けてください。
- ※ラベルは施工後にはがしてください。

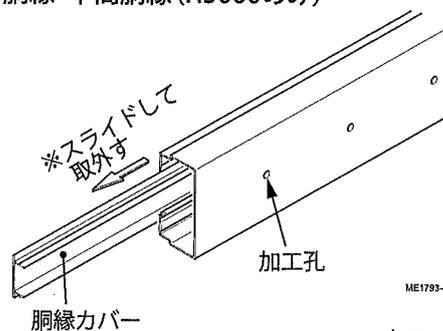


- 出荷時には、胴縁と胴縁カバーが仮組みされています。
- ※施工前に胴縁から胴縁カバーをスライドさせて外してください。

●上胴縁



●下胴縁・中間胴縁 (H3000のみ)



3-2 胴縁の取付け

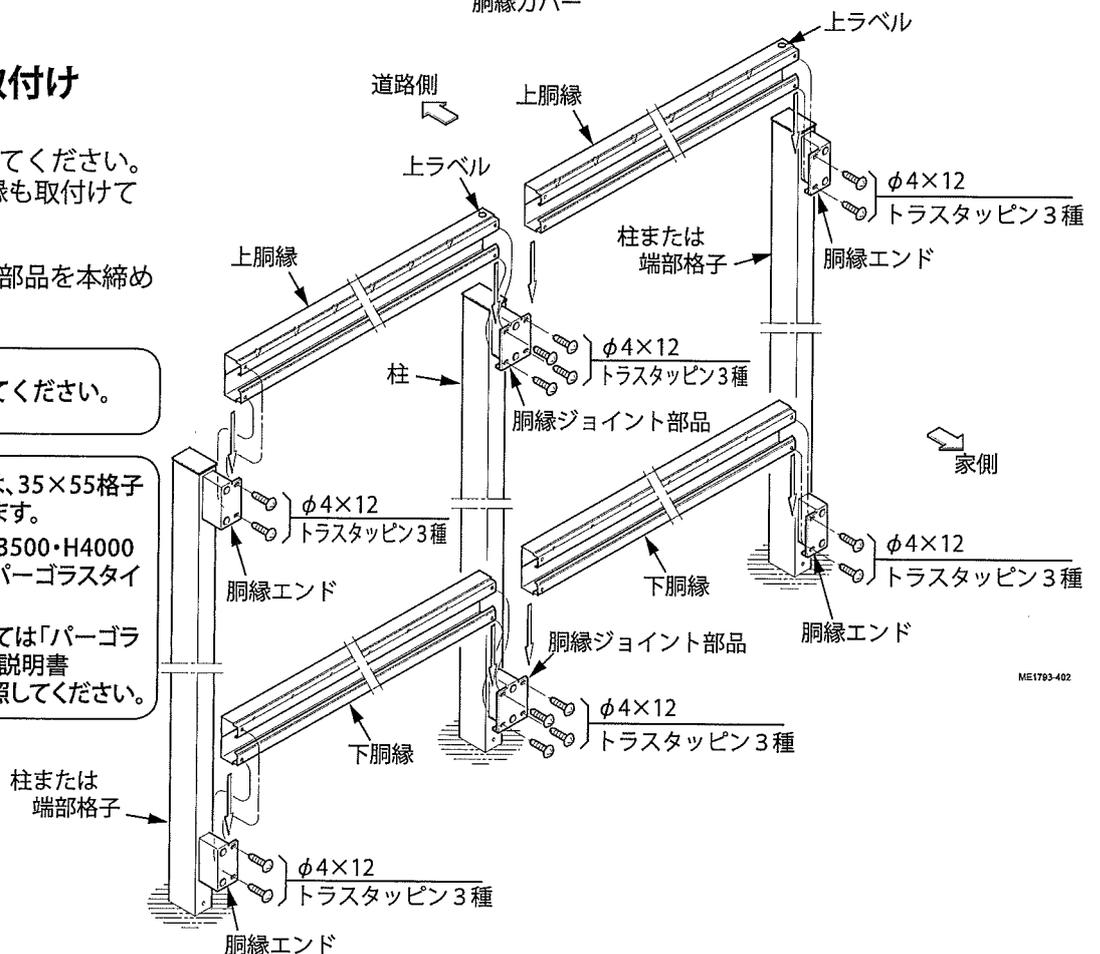
- ①上・下胴縁を柱に取付けてください。
(H3000の場合は中間胴縁も取付けてください。)
- ②胴縁エンド・ジョイント部品を本締めしてください。



ビスを確実に固定してください。



- フェンスH3000は、35×55格子のみ設定があります。
- フェンス高さがH3500・H4000となる場合は、「パーゴラスタイル」となります。
- 施工方法については「パーゴラスタイル」の施工説明書 [ME-1797]を参照してください。



4 格子の取付け

●ここでは、「35×55格子」のイラストで説明しています。



必ず、「下胴縁」→「上胴縁」の順序で格子をビス止めしてください。

H3000の場合は「下胴縁」→「中間胴縁」→「上胴縁」の順序で格子をビス止めしてください。

※上胴縁から先に取付けると、下胴縁の取付孔位置が合わなくなることがあります。

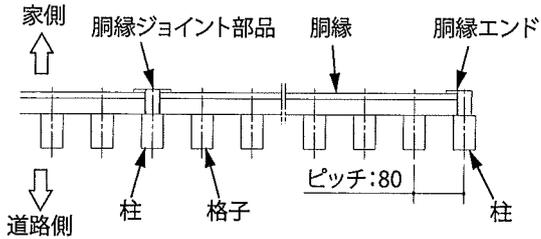


格子の種類によって格子ピッチが異なります。胴縁の取付孔にしたがって格子を取付けてください。



「パーゴラスタイル」の格子として使用する場合は、「パーゴラスタイル」の施工説明書 [ME-1797] を参照してください。

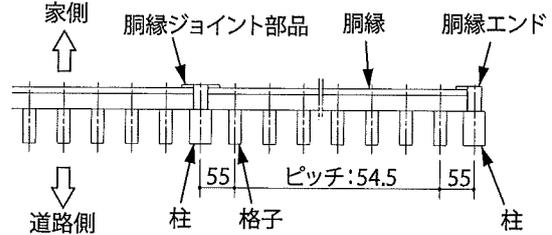
- 35×55格子
- ルーバー格子



ME1793-035-3

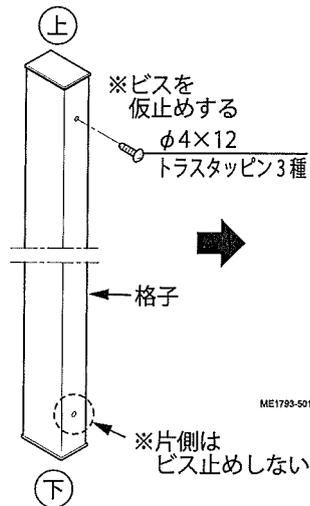
※本図は35×55格子の場合を示しています。
※ルーバー格子も同じピッチになります。

- 細格子

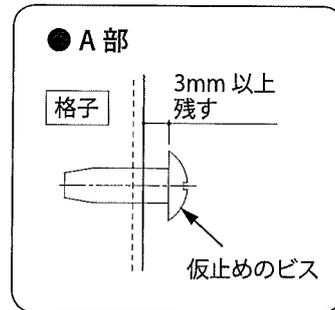
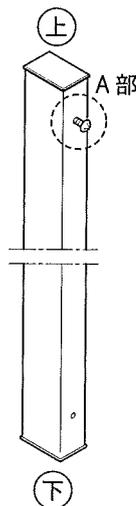


ME1793-037-3

- ①格子の上端部に、ビスを仮止めしてください。

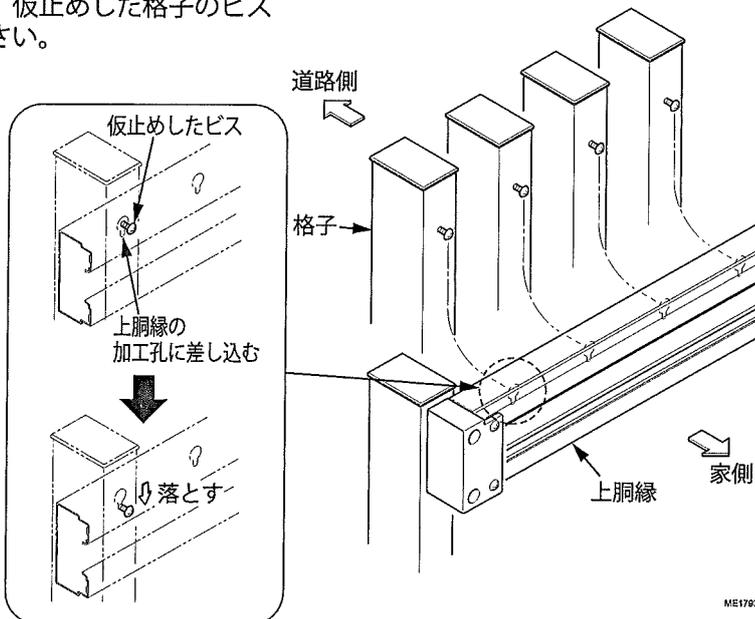


ME1793-501



ME1793-060-3

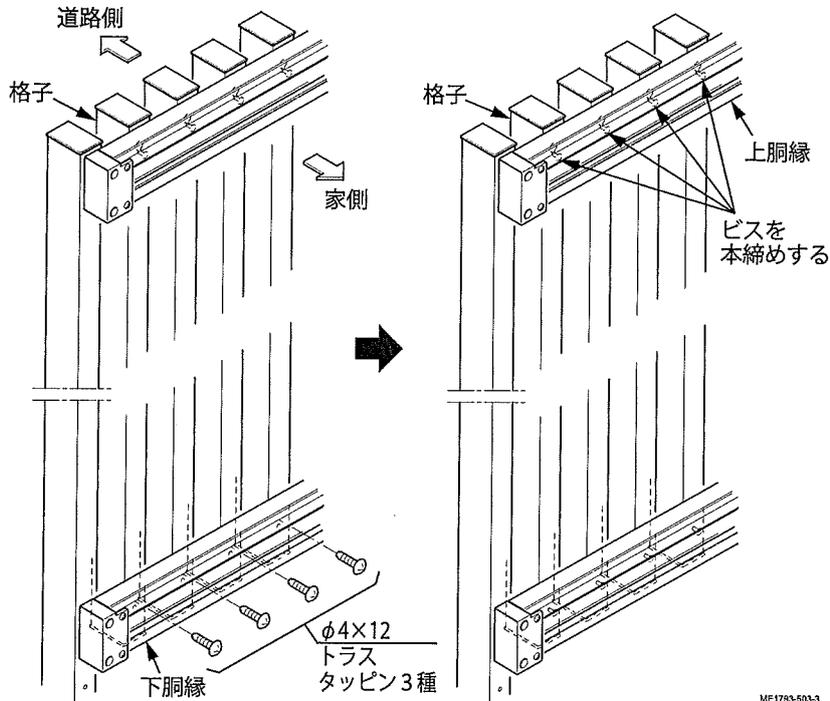
- ②上胴縁の加工孔に、仮止めた格子のビスを引っ掛けてください。



ME1793-502c

③位置調整後、「下胴縁」→「上胴縁」の順にビス止めしてください。
 H3000の場合は「下胴縁」→「中間胴縁」→「上胴縁」の順序で格子をビス止めしてください。

●H2500以下の場合



ME1793-503-3

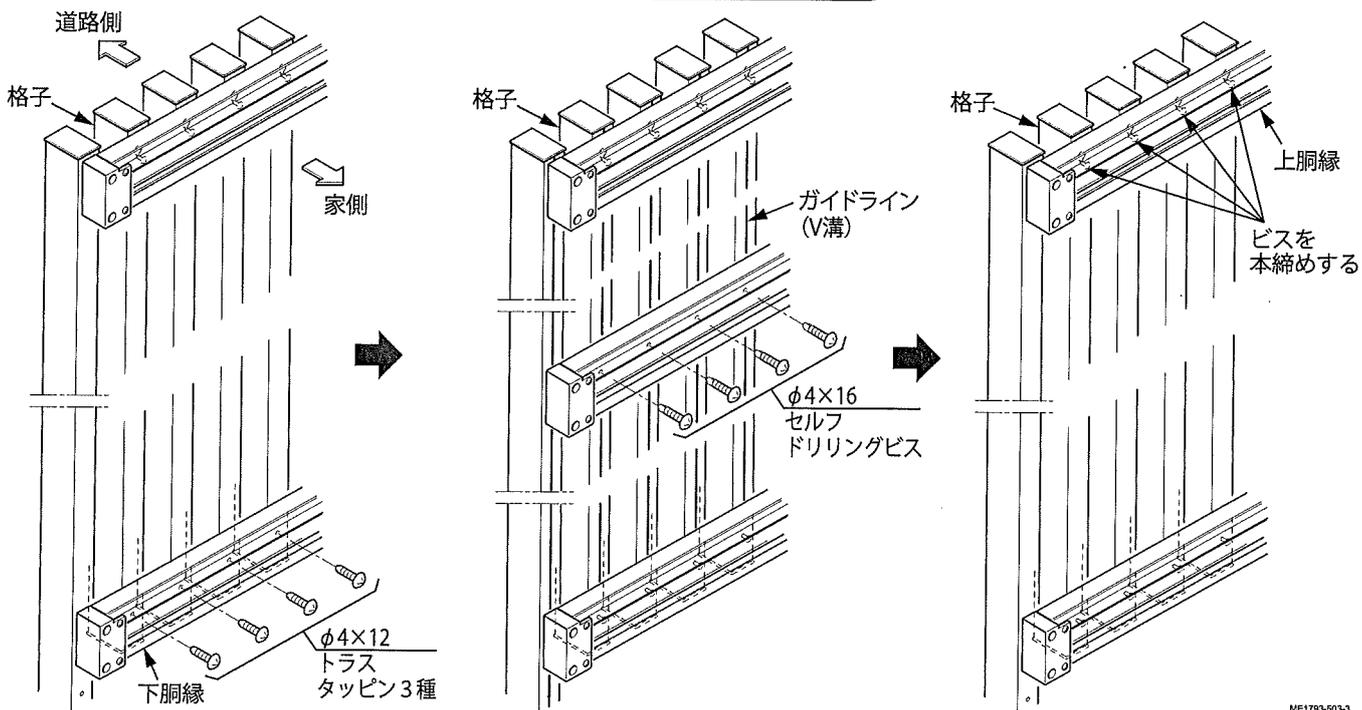
●H3000の場合 (35×55格子)

下胴縁

中間胴縁

上胴縁

! 胴縁の孔加工から見える格子のガイドライン上にセルフドリリングビスで止めてください。



ME1793-503-3

5 胴縁カバーの取付け

●ここでは、「35 × 55 格子」のイラストで説明しています。



取付前に、格子の取付けが完了していることを確認してください。
※胴縁カバーの取付後は、格子を取付けることができません。



「B. フェンススタイル (DPG パネル)」と組合せる場合は、胴縁カバーの取付手順が異なります。
※ 19 ページ「3.DPG パネルの取付け」参照

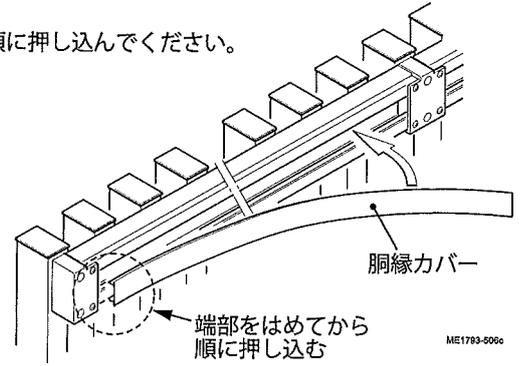
① 胴縁カバーを胴縁にはめ込んで取付けてください。



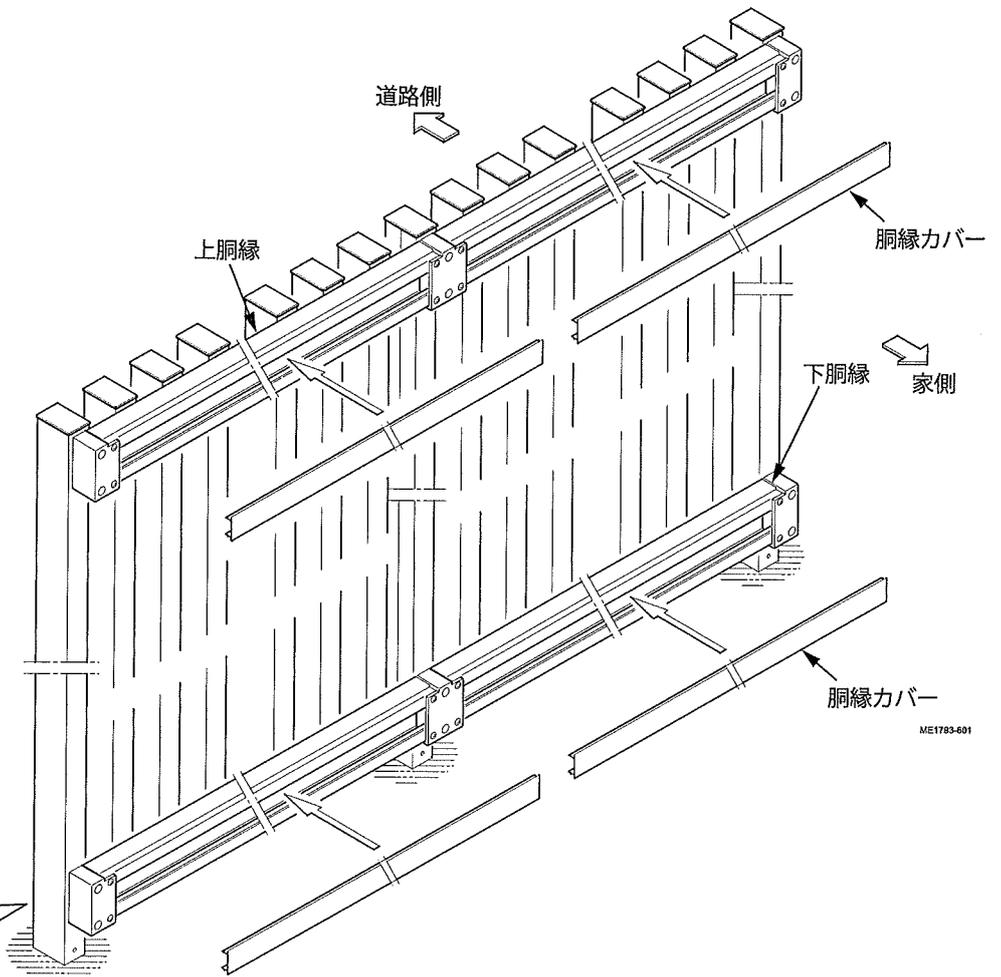
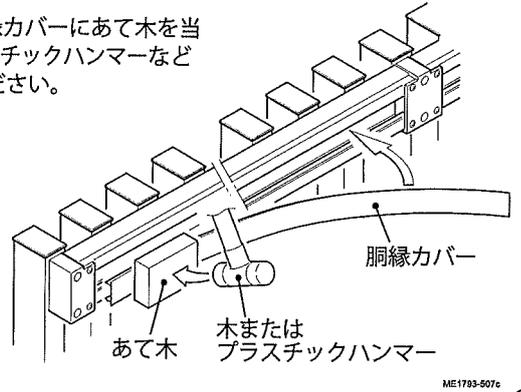
H3000の場合は中間胴縁にも胴縁カバーを取付けてください。

●はめ込みのポイント

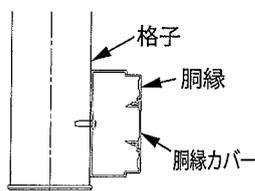
※端部をはめてから順に押し込んでください。



※きつい場合は、胴縁カバーにあて木を当て、木またはプラスチックハンマーなどでたたき込んでください。



●取付部断面図



B フェンススタイル (DPG パネル) の施工

●「フェンススタイル (たて格子)」の場合は 10 ページを、「ウォールスタイル壁内納まり」の場合は 23 ページを参照してください。

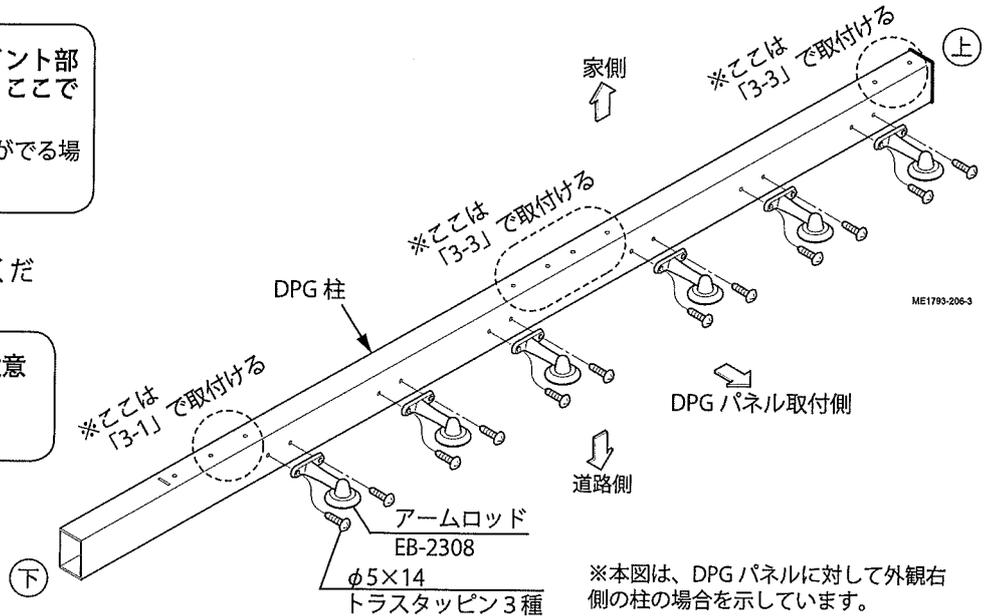
1 アームロッドの取付け

●ここでは、「35 × 55 格子」のイラストで説明しています。

! 胴縁エンドまたは胴縁ジョイント部品は、後工程で取付けます。ここでは取付けないでください。
※ここで取付けると組立に支障がでる場合があります。

①アームロッドを DPG 柱に取付けてください。

! アームロッドの取付向きに注意してください。
※右図の向きで取付けてください。



2 柱の設置

●各納まりごとの手順を参照してください。
●ここでは、「35 × 55 格子」のイラストで説明しています。

2-1 DPG パネル + たて格子の場合

! ルーバー格子との組合せはできません。

①「納まり図」で柱の位置やレベルを確認し、柱を設置してください。

! 格子が取付く柱の基礎寸法は、格子の種類によって異なります。
※ 5 ページの「寸法一覧表」参照。

●基礎寸法一覧表 (DPG 柱: 格子無し) (mm)

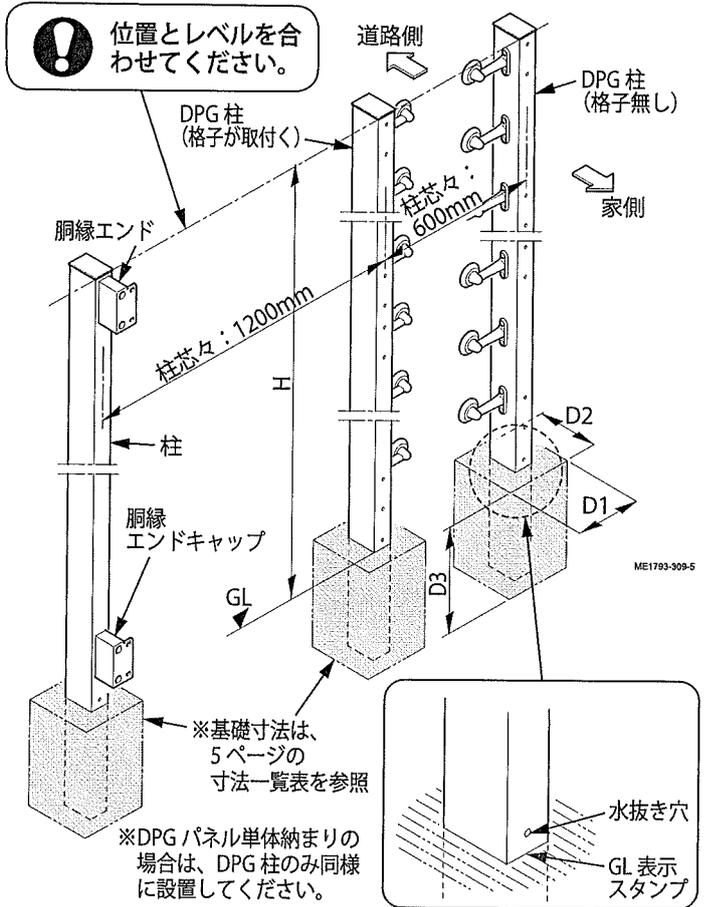
呼称サイズ	H	D1	D2	D3
H2000	2000	400	400	400
H2500	2500	400	400	500

! H2500 の柱には補強材が入っています。

! 水抜き穴をふさがないようにしてください。
※凍結破損の原因になります。

! 地下埋設物 (給排水管等) に影響を及ぼさないように柱位置を決めてください。

! GL 表示スタンプを目安にしてください。



B. フェンススタイル (DPG パネル) : 柱の設置

2-2 DPG パネル + よこ格子の場合



「フェンススタイル (よこ格子)」の施工説明書 [ME-1903] を合わせて参照してください。

①「納まり図」で柱の位置やレベルを確認し、柱を設置してください。



格子が取付く柱の基礎寸法は、格子の種類によって異なります。
※ [ME-1903]・「納まり図」の「寸法一覧表」を参照。

●基礎寸法一覧表 (DPG 柱: 格子無し) (mm)

呼称サイズ	H	D1	D2	D3
H2000	2000	400	400	400
H2500	2500	400	400	500



H2500 の柱には補強材が入っています。



水抜き穴をふさがないようにしてください。
※凍結破損の原因になります。



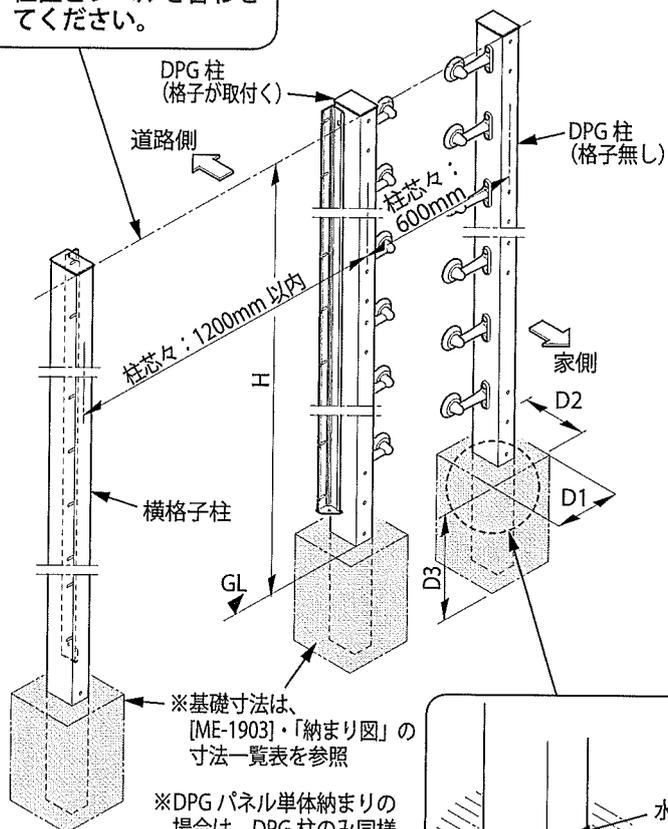
地下埋設物 (給排水管等) に影響を及ぼさないように柱位置を決めてください。



GL 表示スタンプを目安にしてください。



位置とレベルを合わせてください。



※基礎寸法は、[ME-1903]・「納まり図」の寸法一覧表を参照

※DPG パネル単体納まりの場合は、DPG 柱のみ同様に設置してください。

3 DPG パネルの取付け

DPG パネルの施工にあたっては、下記を守ってください。

- 取付け前にパネルの養生シート（両面）をはがしてください。
- 必ず、「下段パネル」→「上段パネル」の順序で取付けてください。
※上段から先に取付けると、下段パネルの胴縁を取付けられなくなります。
- DPG パネルには上・下の区別があります。下段パネルは加工孔を「上側」に、上段パネルは加工孔を「下側」に配置してください。
※ DPG パネルには、表裏の区別はありません。
- 本締めは全体の調整後に行ってください。



- ここでは、「フェンススタイル（たて格子）」と連結する場合のイラストで説明しています。「フェンススタイル（よこ格子）」と連結する場合も同様の手順で行ってください
- 「フェンススタイル（よこ格子）」のフェンス本体の取付けについては、「フェンススタイル（よこ格子）」の施工説明書 [ME-1903] を参照してください。

3-1 胴縁（下段）の取付け

- ① DPG 柱下段に、胴縁エンドまたは胴縁ジョイント部品を仮止めしてください。

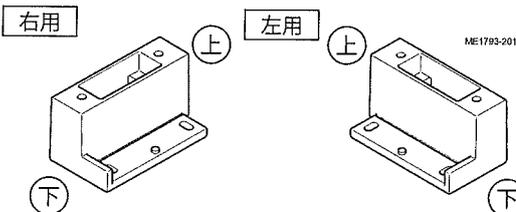


ここでは最下段に胴縁を取付けてください。
※残りの胴縁は、後工程「3-3」で取付けます。

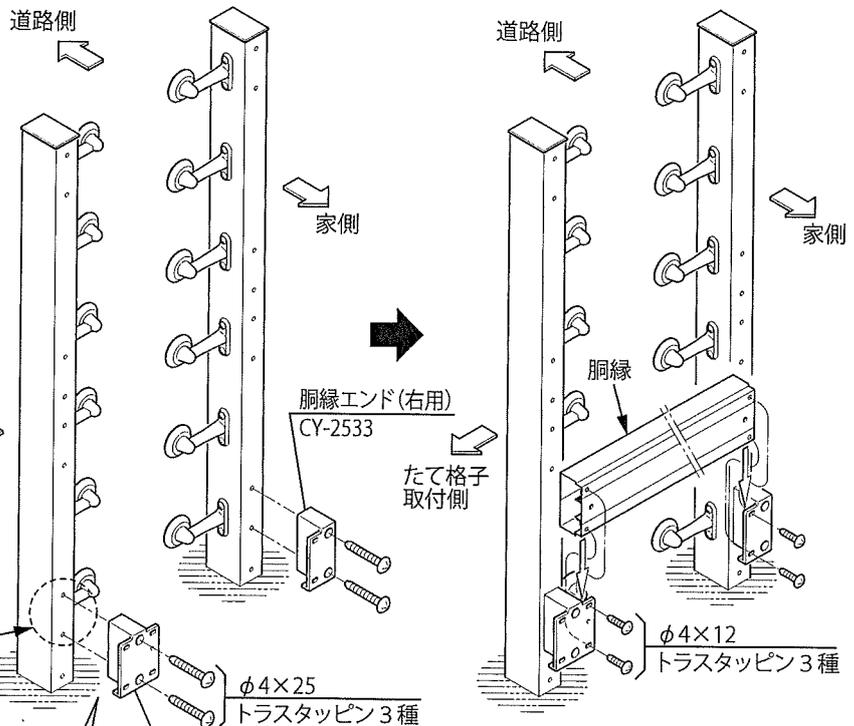
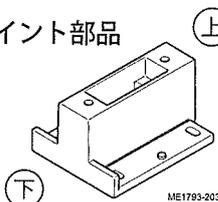


胴縁エンドおよび胴縁ジョイント部品には、左・右および上・下の区別があります。

●胴縁エンド



●胴縁ジョイント部品



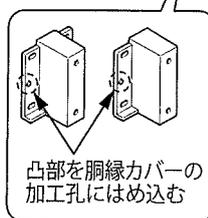
- ② 胴縁を DPG 柱下段に仮止めしてください。



出荷時に、胴縁と胴縁カバーが仮組みされています。



本締めは全ての胴縁の取付け後に行ってください。



胴縁ジョイント部品
(※連結納まりの場合)
J-1302

※本図は、「フェンススタイル(たて格子)」と連結する場合を示しています。
(外観右側へ連結)



胴縁カバーの加工孔に、胴縁エンドまたは胴縁ジョイント部品の凸部をはめ込んでください。

B. フェンススタイル (DPG パネル) : DPG パネルの取付け

3-2 DPG パネルの取付け

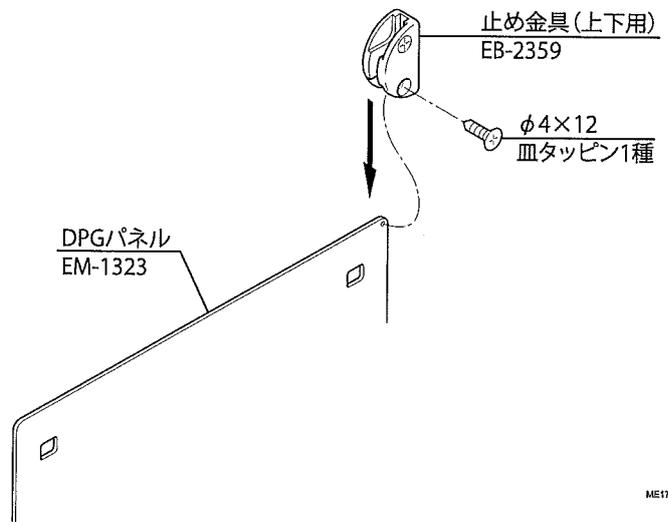


ここでは、DPG パネルを仮止めしてください。

※本締めは、「3-3. 胴縁の取付け」後に行ってください。

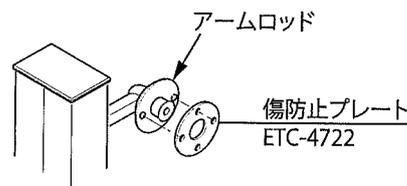
3-2-1 止め金具の取付け

- ① 止め金具を DPG パネル (2 枚) の加工孔に取付けてください。



3-2-2 傷防止プレートの取付け

- ① 傷防止プレートをアームロッドの凸部にはめ込んでください。



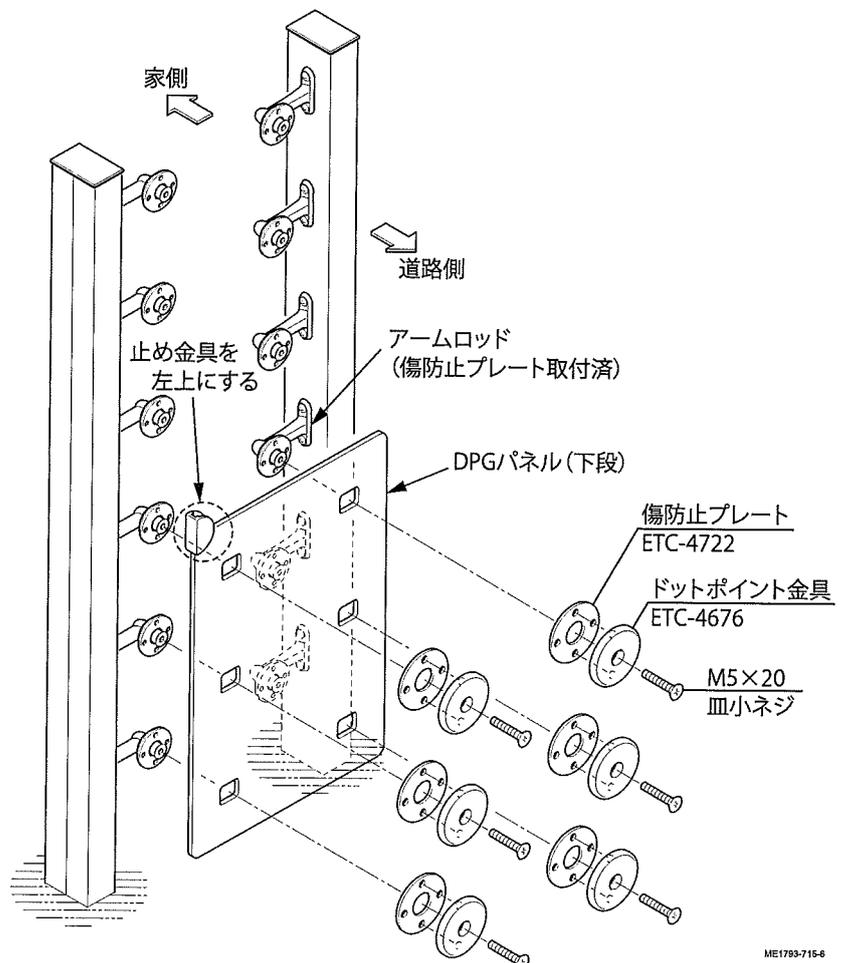
3-2-3 下段パネルの取付け

- ① パネルの取付孔を下段のアームロッドにはめ込んでください。



DPG パネル (下段) に取付いている止め金具を「左上」に配置してください。

- ② 傷防止プレート・ドットポイント金具をビス止めして、下段のパネルを仮止めしてください。

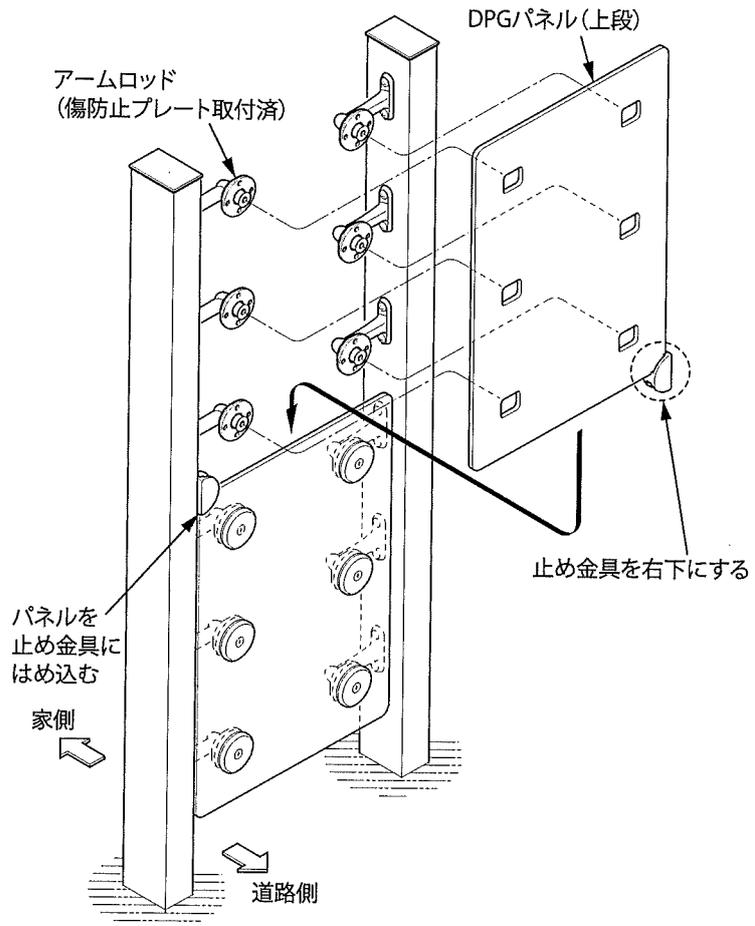


3-2-4 上段パネルの取付け

①パネルが止め金具にはまるように、パネルを上段のアームロッドにはめ込んでください。

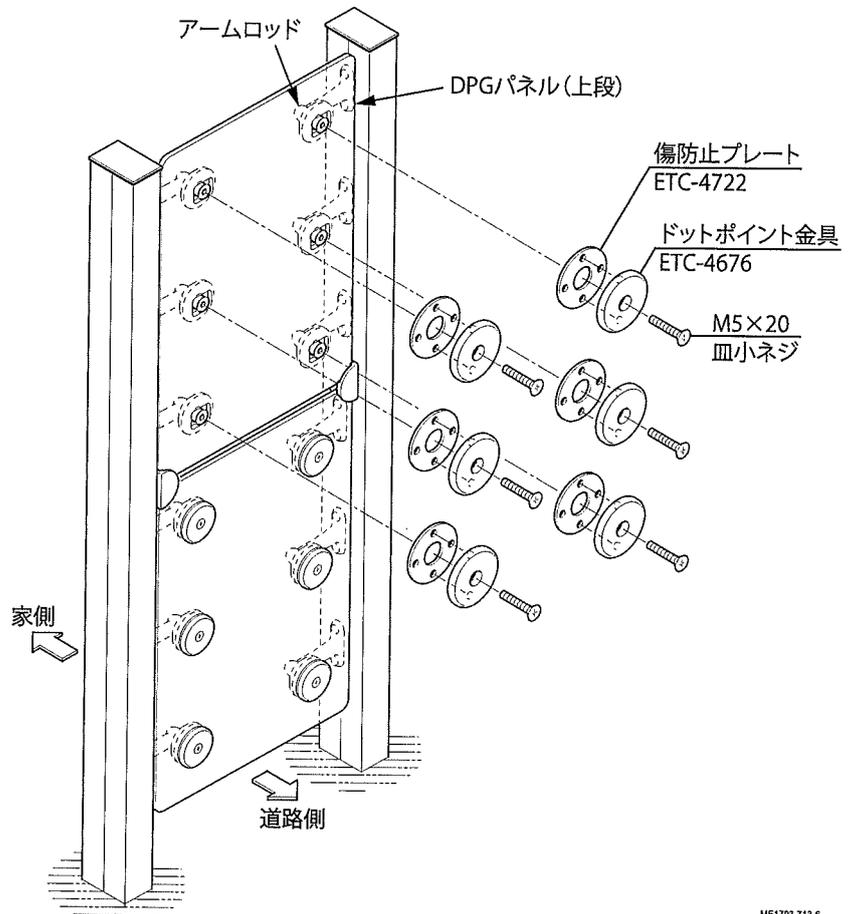


DPG パネル (上段) に取付いている止め金具を「右下」に配置してください。



ME1793-712-6

②下段パネルと同様の手順で、上段パネルを取付けてください。

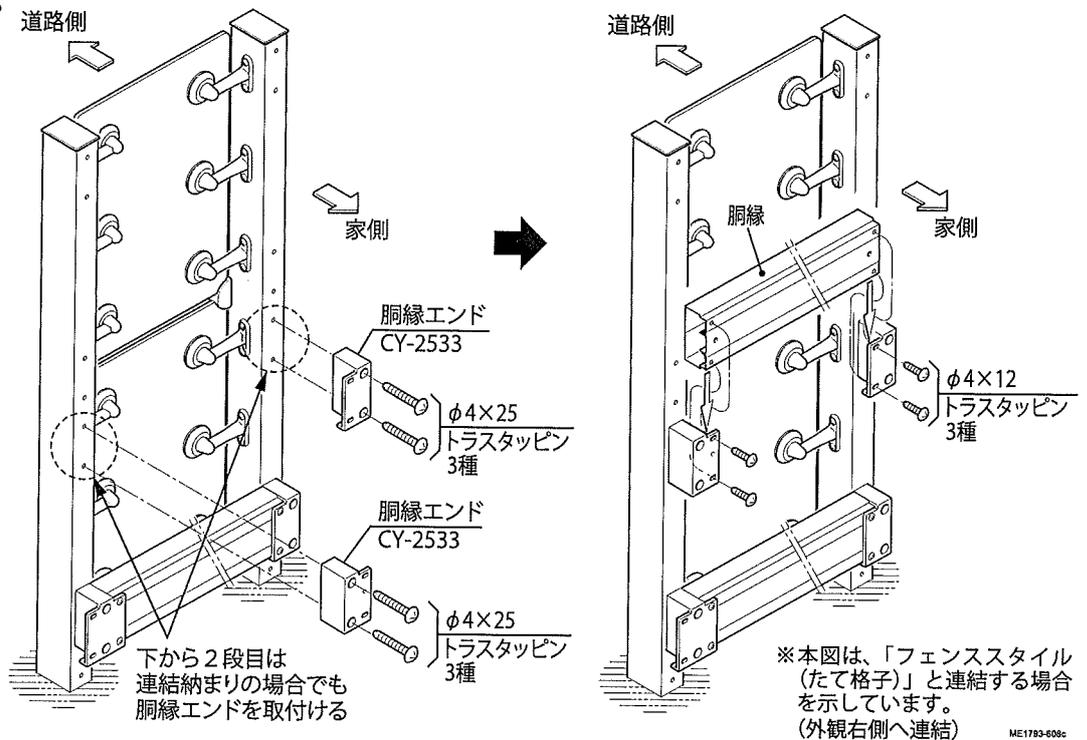


ME1793-713-6

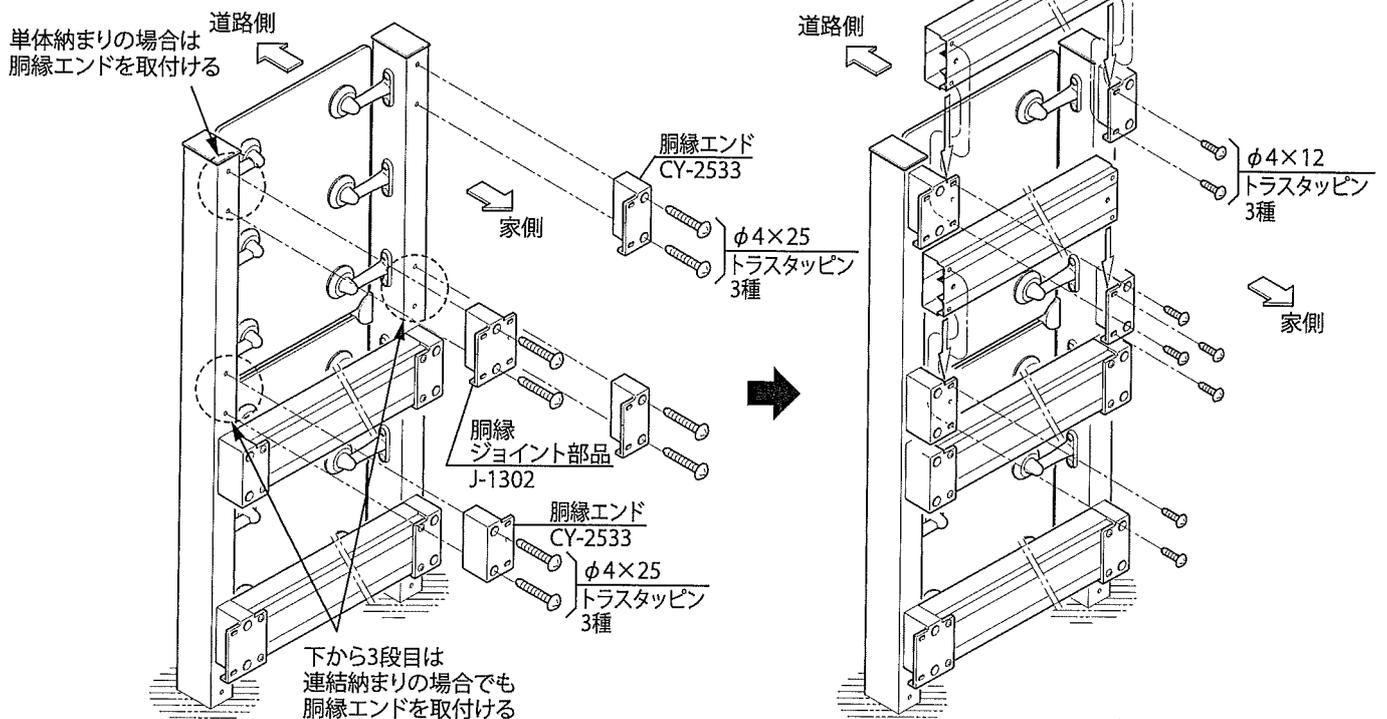
B. フェンススタイル (DPG パネル) : DPG パネルの取付け

3-3 胴縁の取付け

- ①下から2段目の加工孔に、胴縁エンドを仮止めしてください。
- ②胴縁を取付けてください。



- ③下から3段目と最上段の加工孔に、胴縁エンドまたは胴縁ジョイント部品を仮止めしてください。
- ④胴縁を取付けてください。



- ⑤胴縁の取付完了後、胴縁および DPG パネルのビスを本締めしてください。

! 胴縁・DPG パネルの取付ビスを、
確実に固定してください。

C

ウォールスタイル 壁内タイプの施工

●「ウォールスタイル壁内納まり」の場合に参照してください。
※「フェンススタイル（たて格子）」の場合は10ページを、「フェンススタイル（DPGパネル）」の場合は17ページを参照してください。

1 胴縁エンドの取付け

●ここでは、「35 × 55 格子」のイラストで説明しています。

❗ 胴縁エンドは、端部となる格子に取付けてください。

❗ 本締めは、後で胴縁を取付けてから行ってください。
※先に本締めしてしまうと、胴縁を取付けられないことがあります。

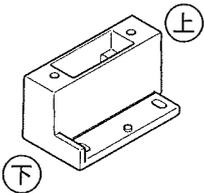
① 胴縁エンドを端部格子に仮止めしてください。



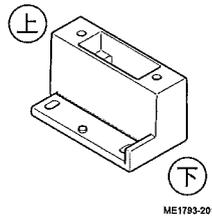
胴縁エンドには左・右および上・下の区別があります。

● 胴縁エンド

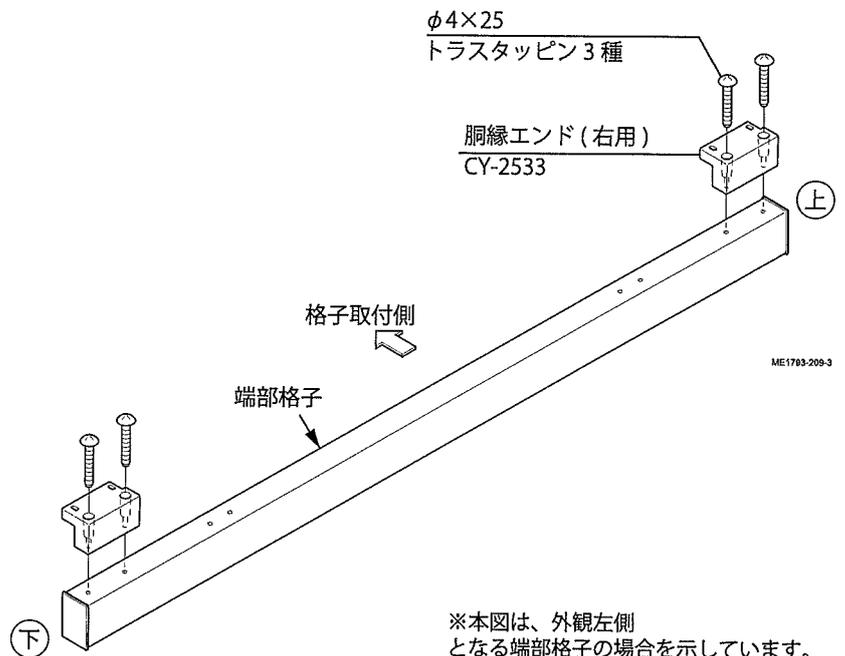
右用



左用



ME1793-201



ME1793-209-3

※本図は、外観左側となる端部格子の場合を示しています。

2 端部格子の取付け

●各納まりごとの手順を参照してください。
●ここでは、「35 × 55 格子」のイラストで説明しています。



- 躯体の見込寸法が 100mm 未満の所には取付られません。
- 格子が公道部分にはみださないようにしてください。



● 躯体に十分な強度があることを確認してください。



● 躯体の材質によって、取付部品が異なりますので注意してください。
・ RC 造：プラグボルトを使用
・ 木造：コーチスクリューを使用



● ルーバー格子の場合は、ルーバーの向きに応じて、右側か左側に専用金具 [LB-1287] を取付けてください。(右図参照)

- ① 「納まり図」で端部格子の取付位置やレベルを確認してください。
- ② 躯体が RC 造の場合は、躯体にプラグボルトを取付けてください。



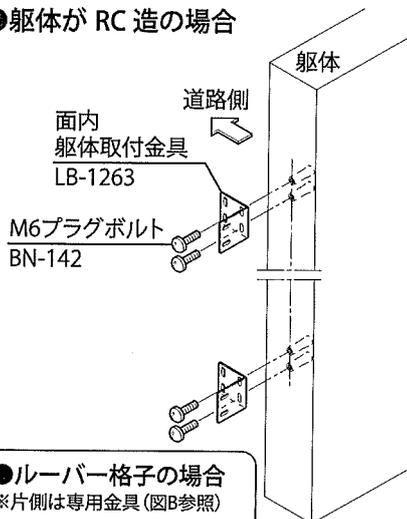
● 壁面がタイル仕上げの場合は、専用のドリルキリを使用してください。
※使用しないと、壁面にひび割れが起こる原因となります。

- ③ 躯体に面内躯体取付金具を取付けてください。
- ④ 面内躯体取付金具に端部格子を取付けてください。



● 位置とレベルを合わせてください。

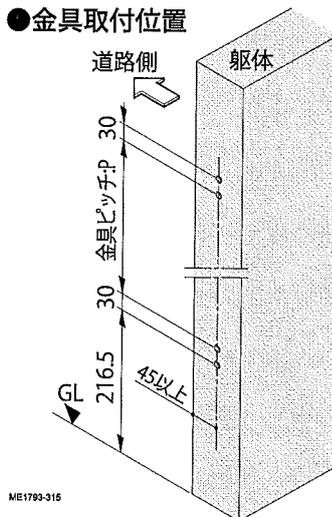
● 躯体が RC 造の場合



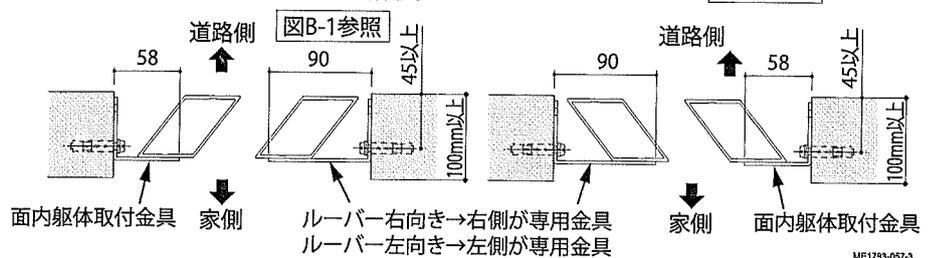
● ルーバー格子の場合

※片側は専用金具 (図B参照)
● 面内躯体取付金具
ルーバー
LB-1287

● 金具取付位置



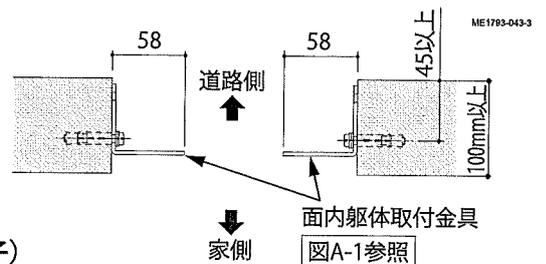
● 図 B：金具の向き (ルーバー格子)



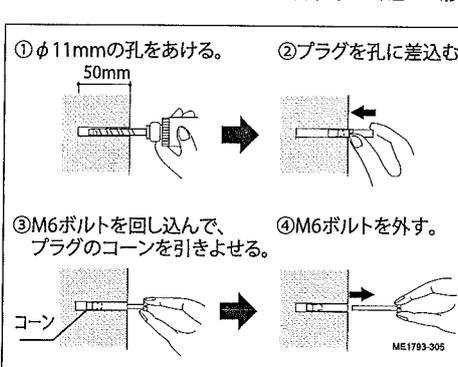
● 金具取付ピッチ (mm)

呼称サイズ	金具取付ピッチ:P
H1200	770
H1500	1070
H2000	1570
H2500	2070

● 図 A：金具の向き (ルーバー格子以外)

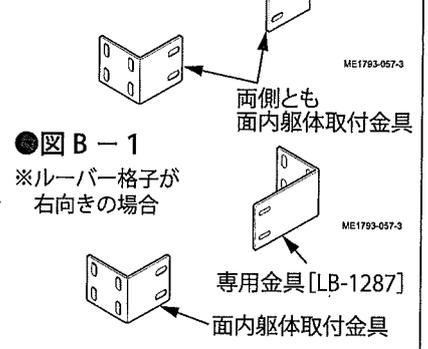


● プラグボルトの施工手順 (RC 造の場合)

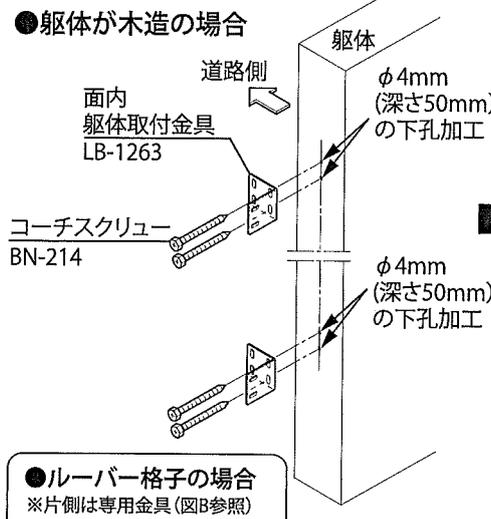


● 図 A-1

※ルーバー格子以外



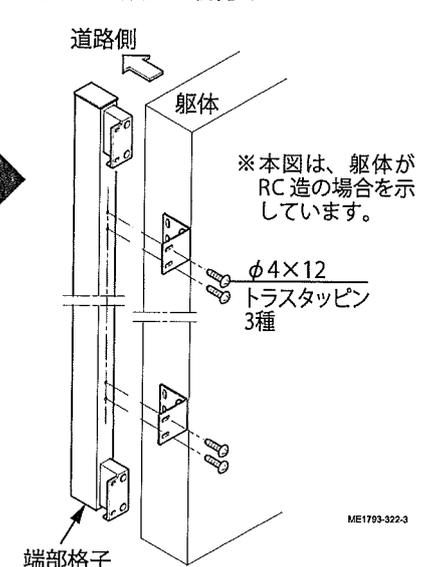
● 躯体が木造の場合



● ルーバー格子の場合

※片側は専用金具 (図B参照)
● 面内躯体取付金具
ルーバー
LB-1287

● 端部格子の取付け



3 胴縁の取付け

4 格子の取付け

5 胴縁カバーの取付け

- 柱の設置後、下記を参照して、胴縁・格子・胴縁カバーを取付けてください。



参照ページ

- 「A. フェンススタイル (たて格子)」
- ・ 13 ページ「3. 胴縁の取付け」
- ・ 15 ページ「4. 格子の取付け」
- ・ 16 ページ「5. 胴縁カバーの取付け」

本体の切詰め

- 現場寸法に合わせ、切詰めを行う場合に参照してください。
- 「フェンススタイル (DPG パネル)」の場合は、DPG パネル側を切詰めることはできません。



本商品は指定の切断寸法で切詰めてください。

※指定の位置で切断しないと、格子が取付かなかったり、がたつく恐れがあります。

胴縁の切詰め

- ①上・下胴縁を指定のピッチで切断してください。
- ②切断後、上・下胴縁に $\phi 3.5$ mm の下孔をあけてください。



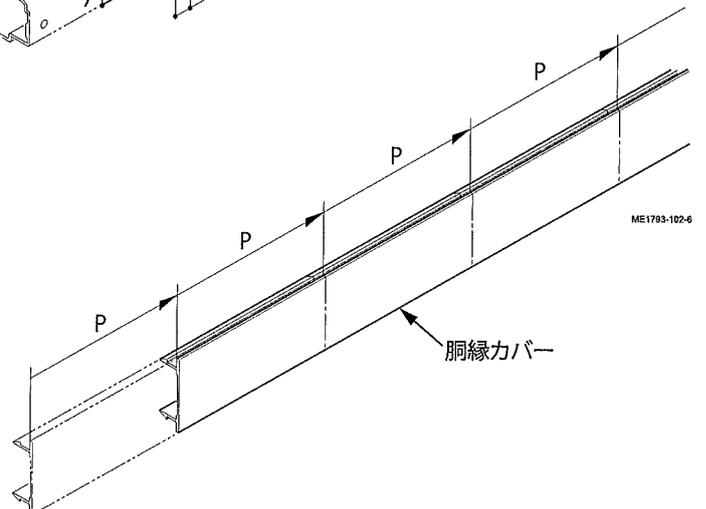
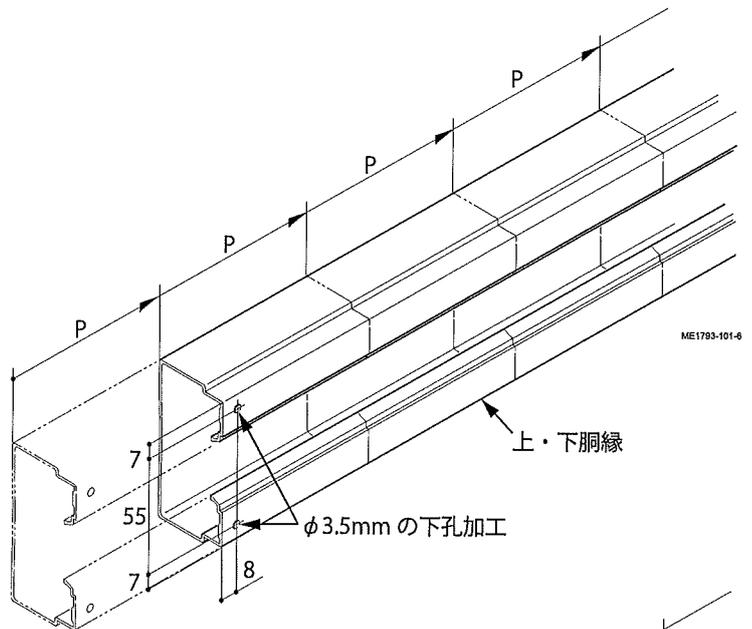
格子の種類によって切詰めピッチが異なります。下表に従って切断してください。

胴縁カバーの切詰め

- ①胴縁カバーを指定のピッチで切断してください。



格子の種類によって切詰めピッチが異なります。下表に従って切断してください。



●切詰めピッチ

(mm)

格子の種類	切詰めピッチ:P
35 × 55 格子	80
ルーバー格子	
丸格子	100
細格子	54.5

高さ違い納まりの施工

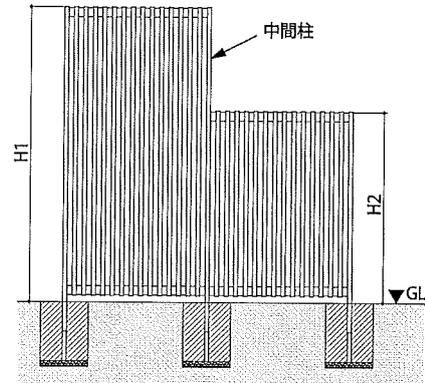
- 「高さ違い納まり」の場合に行ってください。
- ここでは、「35 × 55 格子」のイラストで説明しています。



本商品は、現地加工にて図のような「高さ違い納まり」が可能です。

※中間柱（H2500 以上は中間柱補強材にも）に、低い側のフェンスへの、胴縁取付用の下孔加工を行ってください。

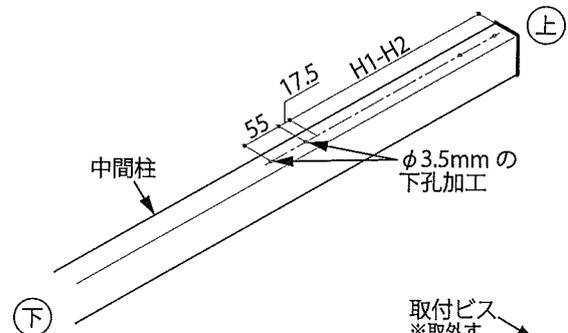
● 姿図



ME1793-801

中間柱が H2000 以内の場合

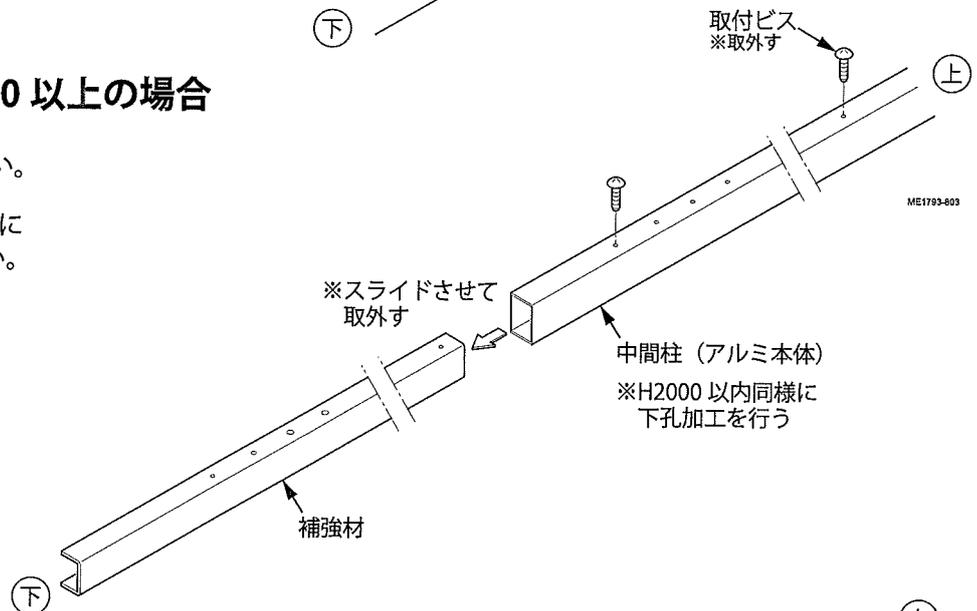
- ① 図を参照して、中間柱に $\phi 3.5$ mm の下孔をあけてください。



ME1793-802

中間柱が H2500 以上の場合

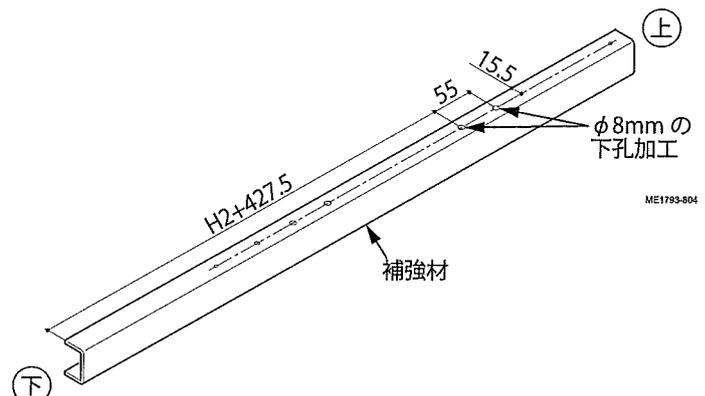
- ① 柱内部の補強材を取外してください。
- ② H2000 以内と同様に、アルミ本体に $\phi 3.5$ mm の下孔をあけてください。



ME1793-803

- ③ 図を参照して、補強材に $\phi 8$ mm の下孔をあけてください。

- ④ 再度、補強材を中間柱に取付けてください。

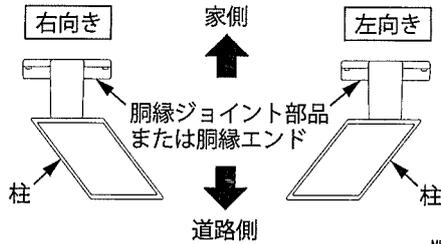


ME1793-804

ルーバー柱の向き変更

●ルーバー柱は、出荷時は「右向き柱」になっています。「左向き」にする場合は、下記を参照して柱の向きを変更してください。

●ルーバー柱の向き



ME1793-042-4

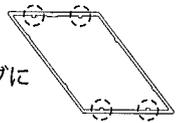


H1200・1500の場合は、柱の突起とキャップのリップを合わせてはめ込んでください。

※位置を合わせないと、柱とキャップの孔位置が合わなくなります。

●柱の突起 (断面図)

柱の突起をキャップのリップに合わせる



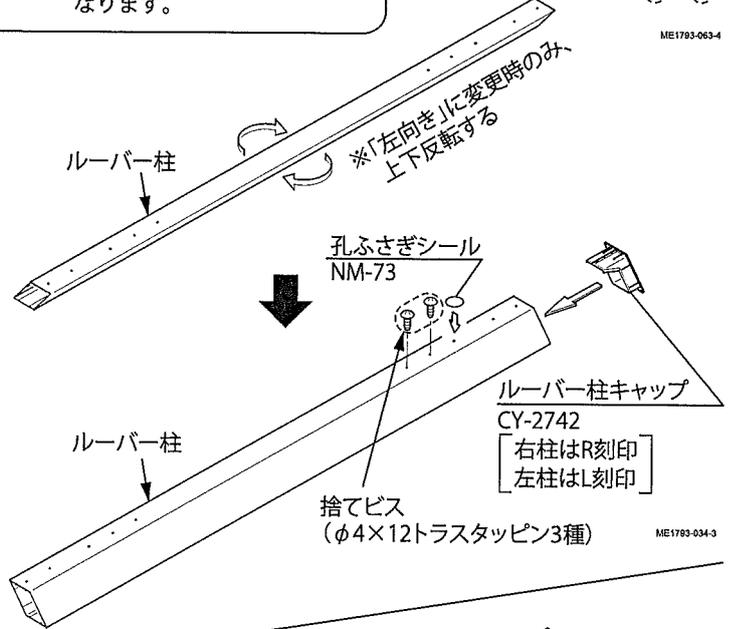
ME1793-063-4

●補強材がない柱の場合 (H1200・1500・2000)



- 「右向き」の場合は、「手順③」のみ行ってください。
- ルーバー柱キャップは左右があります。

- ①ルーバー柱の向きを確認してください。
- ②「左向き」に変更する場合のみ、柱を上下反転してください。
- ③キャップセットから、キャップ、孔ふさぎシール、捨てビスを取付けてください。



ME1793-034-3

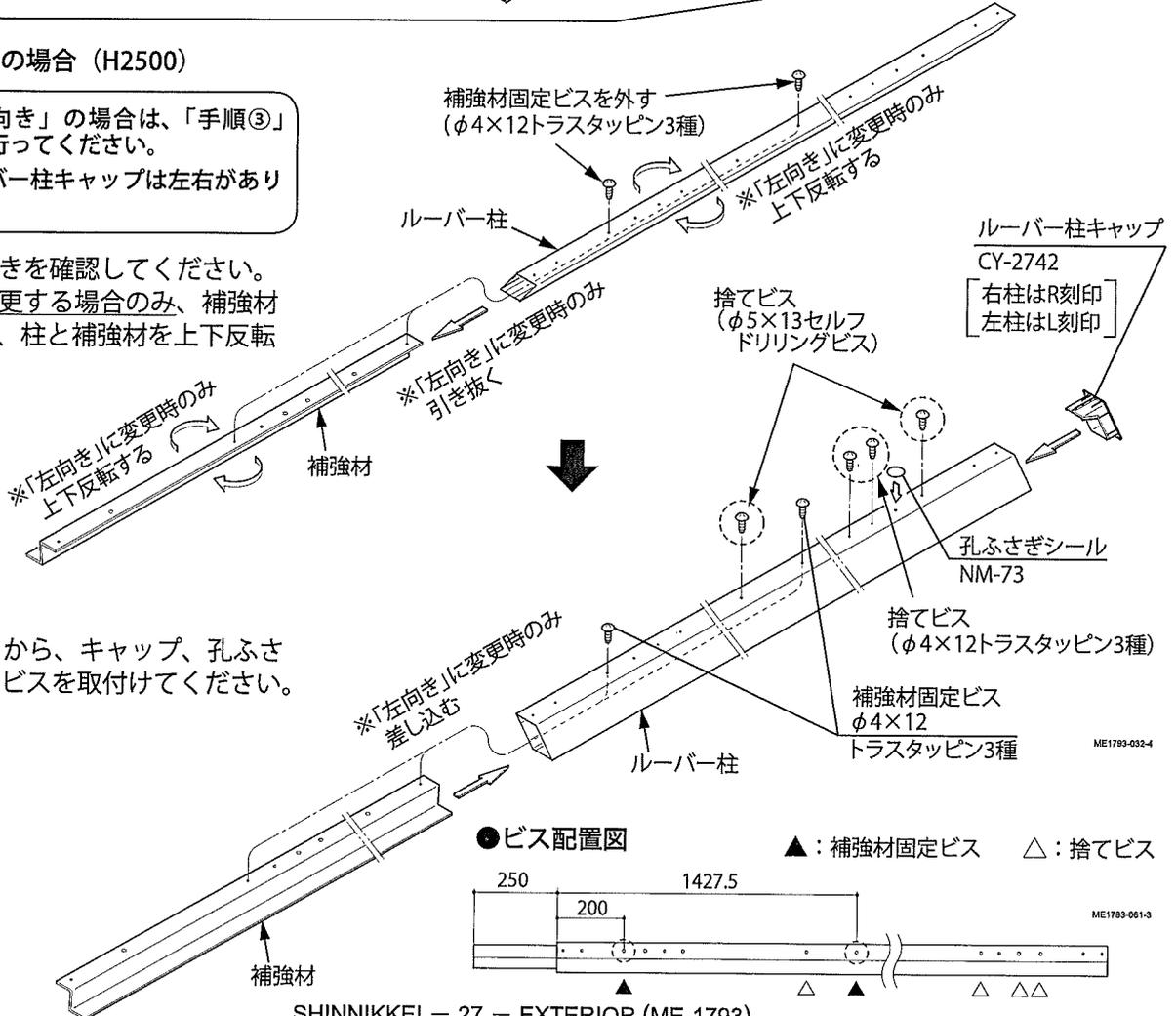
●補強材がある柱の場合 (H2500)



- 「右向き」の場合は、「手順③」のみ行ってください。
- ルーバー柱キャップは左右があります。

- ①ルーバー柱の向きを確認してください。
- ②「左向き」に変更する場合のみ、補強材固定ビスを外し、柱と補強材を上下反転してください。

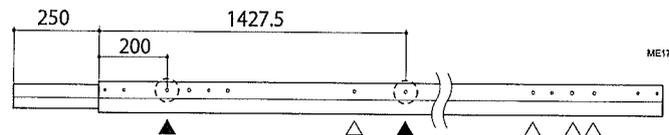
- ③キャップセットから、キャップ、孔ふさぎシール、捨てビスを取付けてください。



ME1793-032-4

●ビス配置図

▲：補強材固定ビス △：捨てビス



ME1793-061-3

ルーバー柱の向き変更

●ブロック納まり用柱の場合

- 「右向き」の場合は、「手順③」のみ行ってください。
- ルーバー柱キャップは左右があります。

- ①ルーバー柱の向きを確認してください。
- ②「左向き」に変更する場合のみ、補強材固定ビスを外し、柱と補強材を上下反転してください。

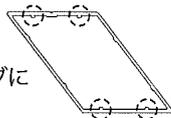
- ③キャップセットから、キャップ、孔ふさぎシール、捨てビスを取付けてください。



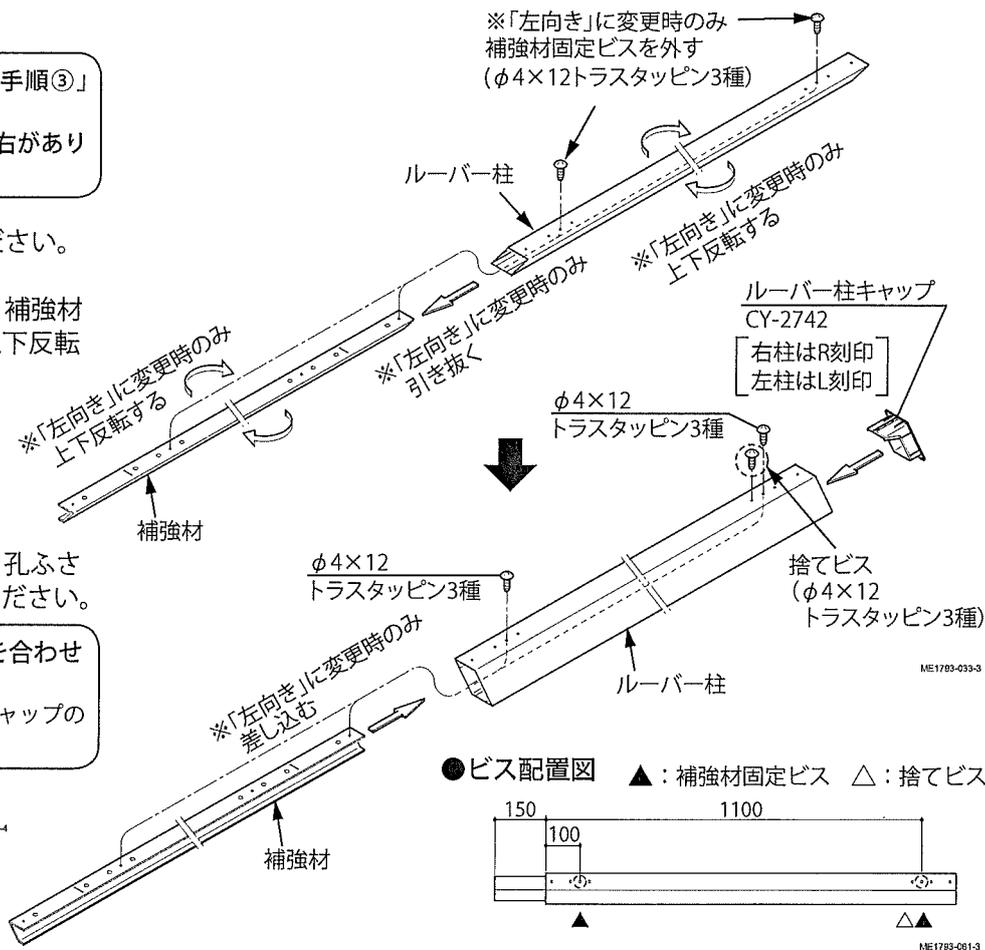
柱の突起とキャップのリップを合わせてはめ込んでください。
※位置を合わせないと、柱とキャップの孔位置が合わなくなります。

●柱の突起 (断面図)

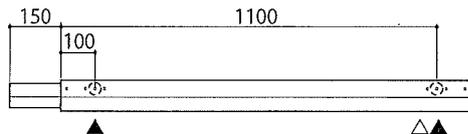
柱の突起を
キャップのリップに
合わせる



ME1793-063-4



●ビス配置図 ▲：補強材固定ビス △：捨てビス



製品のお手入れ方法について

ポリカーボネートパネルについて

- ポリカーボネートパネルは材質の特性上、温度の変化による伸縮が発生します。それによって多少のたわみ（反り）が発生する場合がありますが、使用上および機能上問題はありません。

ラミネート・ポリカーボネート製品のお手入れ方法

- 汚れ、ホコリが付着した場合には、軽く水で流すかテープ等の接着面でたたくようにしてください。
- 年に数回の水洗いと、空ぶきだけでも効果的です。ただし、工業地帯や海岸の近くなどでは、状況によりお手入れの回数を増やしてください。
- 汚れが軽い場合：やわらかい布かスポンジで水ぶきした後空ぶきしてください。
- 汚れが目立つ場合：中性洗剤を薄めた液で汚れを落し洗剤が残らないように水洗いしてから空ぶきしてください。

施工工事店様、販売店様へのお願い

- 「取扱説明書」に基づき（同梱されているもののみ）商品の使用方法、保守点検方法およびメンテナンス方法を必ず施主様に説明してください。
- この施工説明書は、施工完了後施主様にお渡しください。

施工完了日	年	月	日
施工工事店	TEL ()	-	
販売店	TEL ()	-	

株式会社LIXIL

この商品についてのご質問やご相談は
下記の窓口にお問い合わせください。

お客様相談室

 0120-37-2534

新日軽インターネットホームページ
<http://www.shinnikkei.co.jp>